

Ⅱ 結果の概要

1. 弘前市経営計画の各分野について
2. 弘前市まち・ひと・しごと創生総合戦略（人口減少対策）
3. ひとづくり
4. 暮らしづくり
5. まちづくり
6. なりわいづくり

1. 弘前市経営計画の各分野について

●各分野の取組についてどのように感じていますか

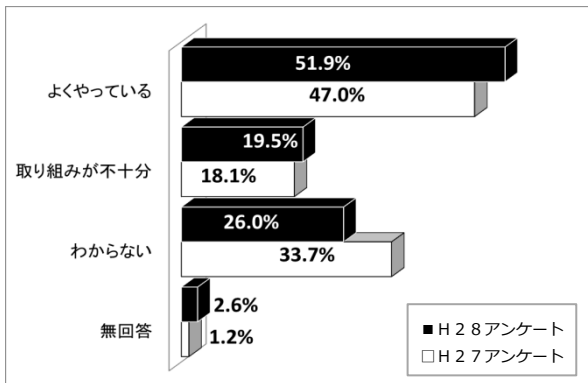
各分野ともに、平成 27 年度アンケート結果より「よくやっている」と答えた人が増加し、最も増加したのは「まちづくり」で、12.7ポイントの上昇であった。また、「取り組みが不十分」と答えた人は、「ひとづくり」で 1.4 ポイント上昇したが、その他の分野では減少しており、最も減少したのは「くらしづくり」の 11.3 ポイント減少であった。

また、「よくやっている」と答えた人が最も多かった分野は「くらしづくり」で 55.8% となった一方、「取り組みが不十分」と答えた人が最も多かったのは「まちづくり」で 32.5% となった。

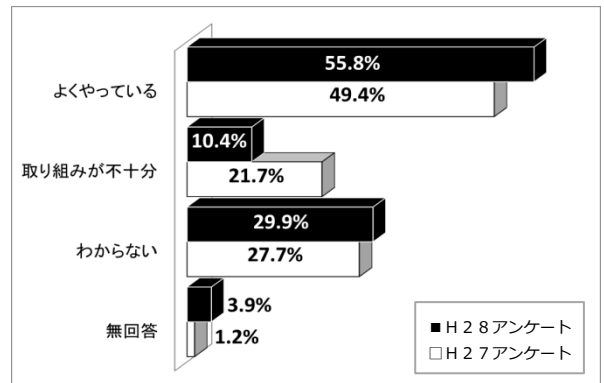
「まちづくり」については、「取組が不十分」と答えた人が、他の分野の 2 倍から 3 倍近くになっており、「まちづくり」の分野は、雪対策や道路環境、廃棄物対策など日常生活に密接な取組が多く、年代や職業等に関わらず、より快適な生活を望む人が多いことが要因であると推測される。

「なりわいづくり」については、「よくやっている」と答えた人が 49.4% となった一方、「わからない」が 39.0% と回答者の約 4 割という結果となった。これは、「まちづくり」や「くらしづくり」の分野に比べ、普段の暮らしにあまり関わりがないという人が多いことが要因と推測される。

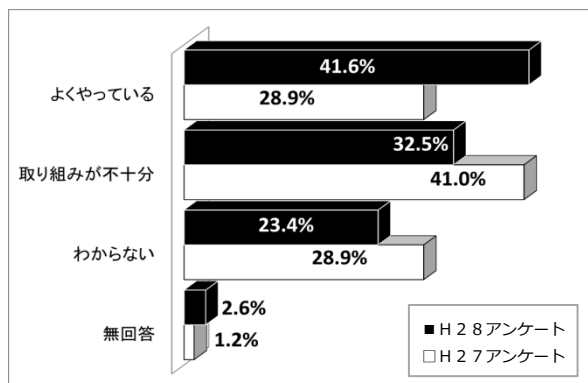
【ひとづくり】



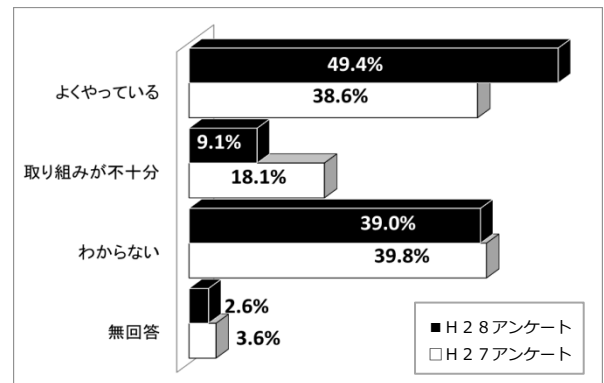
【くらしづくり】



【まちづくり】



【なりわいづくり】



2. 弘前市まち・ひと・しごと創生総合戦略（人口減少対策）

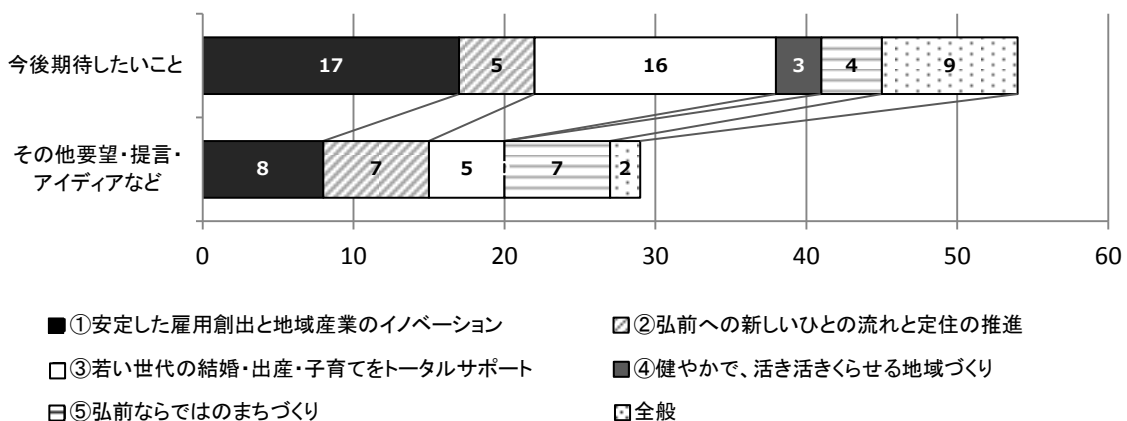
人口減少の抑制と地域経済の維持・成長を目的に、弘前市経営計画の中から、次の5つの基本目標「①安定した雇用創出と地域産業のイノベーション」、「②弘前への新しいひとの流れと定住の推進」、「③若い世代の結婚・出産・子育てをトータルサポート」、「④健やかで、生き生きらせる地域づくり」、「⑤弘前ならではのまちづくり」に対して貢献度の高い施策・事務事業を抽出し構成しており、人口減少による社会的影響の緩和に向けた取組を分野横断的に推進。

「弘前市まち・ひと・しごと創生総合戦略（人口減少対策）」の取組に関する自由意見

「弘前市まち・ひと・しごと創生総合戦略（人口減少対策）」の取組について、「今後期待したいこと」、「その他要望・提言・アイデア」について意見を聞いた。

「今後期待したいこと」については54件の意見があり、上記の5つの基本目標に分類すると、雇用環境の改善や雇用の創出など、「①安定した雇用創出と地域産業のイノベーション」に関する意見が最も多く17件となっている。次いで「③若い世代の結婚・出産・子育てをトータルサポート」に関する意見が16件となっている。

「その他要望・提言・アイデアなど」については29件の意見があり、分類すると、若者の定住を図るためにも雇用の創出が必要など「①安定した雇用創出と地域産業のイノベーション」に関する意見が最も多く8件、次いで「②弘前への新しいひとの流れと定住の推進」、「⑤弘前ならではのまちづくり」に関する意見がそれぞれ7件となっている。



【弘前市まち・ひと・しごと創生総合戦略(人口減少対策)で今後期待したいこと】

①安定した雇用創出と地域産業のイノベーション 17件

- ここで就職したいと思えるような機会をつくってほしい。(10歳代・女性)
- 企業や産業を創出することによって雇用が増え、長く人が住める町になること。(20歳代・男性)

- 若者の雇用環境の改善を期待します。最近では最低賃金が上がり若者も働きやすい環境が整いつつあると感じています。しかし、ブラックバイトの問題など労働環境についての問題は解決していません。賃金以外での質の向上を求めます。(20歳代・男性)
- 雇用創出。(30歳代・女性)
- 働く場所がないと弘前の人口が増える事はないと思うので、新しい産業に期待するとともに、給料の安定、サービス残業の見直しをしてほしいです。(30歳代・男性)
- 人口減少の中で、各分野における雇用人員不足が深刻となっており、雇用対策に期待。(30歳代・男性)
- 雇用環境が要因となって、就労世代が県外、市外へ流出しているように感じる。とくに若年層への雇用環境改善へ向けて取り組んでいただきたい。(30歳代・男性)
- 人口減少に伴う経済規模の縮小は、大きな問題を引き起こすため、早急に手を打ってほしいと思います。農業の活性化、人口増加にもつながるように、移住の受け入れ事業にさらに重点を置き、安心・安全な食物をアピールするために、無農薬栽培の農業を展開してほしいです。(30歳代・女性)
- 地域産業のイノベーションには大いに期待したい。特に、りんご産業はシードル作りに代表されるように従来の農家では思いつかない分野にもどんどん発展していくよう、自治体のサポートがあれば、他の施策にも好影響が広がっていくと思う。(40歳代・女性)
- 雇用がないと人口流出・人口減少に歯止めがきかないので、まず若者の雇用が優先かと思いません。(50歳代・男性)
- 安定した雇用創出。それにより定住化が図られ、結婚への不安解消・意識向上が増すのではないかと思います。(50歳代・男性)
- 雇用創出には、特に力を入れてほしい。(50歳代・女性)
- 新たな取り組みにも積極的に挑戦している姿勢が素晴らしい。弘前の新しい魅力を県外に発信しているのも感じられる。(50歳代・女性)
- 安定した雇用創出と地域産業のイノベーション。(50歳代・女性)
- 若者の働く場が少なく、やむを得ず県外就職する若者が多い、短期雇用者が多いため、安定した収入が無く独身者が多くなっている。Uターンしたくても働く場が無いので、帰ってこれない。安定した雇用の場の創出をおおいに期待している。(60歳代・男性)
- U・J・Iターンの促進について：弘前市に生まれ育った未来ある有能な若者が、地元で働きたくてもその能力を生かす職場が少ないことが残念に思います。都市部で実績のある弘前出身者を、それぞれの分野において関連企業や団体などで積極的に採用してもらいたいと思います。広報やネット上での公募という形で、地元出身者に広く周知してもらいたい。(60歳代・男性)

②弘前への新しいひとの流れと定住の促進 5件

- U・J・Iターンの促進や大学生がそのまま定住することによる人口減少抑制。大学生は4年など在学习中しか弘前にいないという人がほとんどだと思うから、その人たちをいかに多く定住させるかに期待。(20歳代・男性)

- 移住受入推進事業。関わったことがあるが、一年で音沙汰なくなった。目標・期待値に届かなかったとしても、もう少し腰を据えた取り組みも必要ではないか。この地に住みたいという声もある中で、形にできないことに気をもむ。あとは当人や地元でやれということか？（40 歳代・男性）
- Uターンへの人口増加に期待したい。市外で培った経験や人脈という財産を、ぜひ地元で活かしてほしい。まだ地元の人間が変化を嫌う空気があるが、古き良きを守ることと進化することを受け入れる弘前になってほしい。（40 歳代・女性）
- 先ず他の地域から人を集める事よりも弘前で生まれ育った若者が都市部等に流出させないような政策が必要ではないか。（40 歳代・男性）
- 年間を通して、弘前の魅力とは、観光面では、理解・周知されているように思われるが、働きがい、生きがい等についての取り組みを強化することによって、若者の定住が図られるのではないだろうか。（70 歳以上・男性）

③若い世代の結婚・出産・子育てをトータルサポート 16件

- 子育てに係る負担軽減。（10 歳代・女性）
- 基本目標の中では特に「③若い世代の結婚・出産・子育てをトータルサポート」に期待したい。私は今大学生で将来、仕事につこうと思っているので、安心して育児休暇がとれる環境づくりや、自分の職場内に保育施設があるととても安心。（10 歳代・女性）
- 「③若い世代の結婚・出産・子育てをトータルサポート」の活動はとても気になるし、期待したい。最近、周りにシングルマザーや子育てに悩む人をよく見かけるので、これによって少しでも負担が減らせられれば、と思う。（20 歳代・女性）
- 「若い世代の結婚・出産・子育てをトータルサポート」することで、弘前市の中で人口を増加させるだけでなく、他県からの新しいひとの流れを作ること、もっと弘前の良さを広めたい。（結果的に人口の増加にもつながると思う。）（20 歳代・女性）
- 「目標③若い世代の結婚・出産・子育てをトータルサポート」の人口減少対策として、やはり安心して子どもを育てられる場所、環境を作ることが一番大切だと考える。自分自身これからおこりうることなのでサポートがしっかりしていると助かる。（20 歳代・女性）
- この基本目標の施策4「未来をつくるひとづくりの推進」。子どもたちの意識が変われば、未来も変わる。ぜひ、中央に負けない多様な教育を受けさせてほしい。（30 歳代・男性）
- 基本目標③の施策4「未来をつくるひとづくりの推進」に期待しています。特に多様な教育の展開。（40 歳代・女性）
- ③若い世代の結婚・出産・子育てをトータルサポート。（40 歳代・女性）
- 人口減少を抑制することは、絶対に必要だと思います。目標③の3、子育て環境の改善「子育てに係る負担軽減」については、教育費を完全に無料にするなど、徹底した対策が必要だと思います。（50 歳代・女性）
- 3. 若い世代子育てトータルサポート。若い世代でも子どもが3人いる家庭もこの頃見受けられます。その後、高校から大学進学、就職するにつれて、地元定着が少なくなっている様子があります。地元の大学も留学生を受け入れるよりは、地域の若い世代を教育してりんご農家で

稼ぐことができるようにならないかしら… (50歳代・女性)

- 子育てをトータルサポート。(50歳代・女性)
- 全てに期待したいが、特に「若い世代の結婚・出産・子育てをトータルサポート」。身近に結婚していない男女が増えているように思う。(60歳代・女性)
- ふるさとを愛する人づくり、それを意識した町づくりや学校教育。(60歳代・男性)
- 子育てに係る医療費小学校卒業まで無料(低所得者)。(70歳以上・女性)
- 「若い世代の結婚・出産・子育てをトータルサポート」(70歳以上・男性)
- 街コンを県の方々のアドバイスを受けながら実行しましたがなかなか人が来ません。カップルは2〜3組ありましたが、はたして結婚まで進むのかはちょっとわかっていません。会費は女性と男性からもらっていますが、それでは足りませんので主催者側の出費になってしまい、これからも継続出来るか考え中です。(70歳以上・女性)

④健やかで、生き活きらせる地域づくり 3件

- 「④健やかで、生き活きとくらせる地域づくり」に期待したい。短命県と言われている青森県をどれだけ変えられるか期待する。(20歳代・女性)
- 弱者に優しい街であってほしい。(40歳代・女性)
- 健康サポーター制度も新しく出来たので、検診率の向上に期待しています。せめて、長寿県としてベスト10に入れるように健康づくりの推進に努力しましょう。(70歳以上・男性)

⑤弘前ならではの地域づくり 4件

- 「弘前ならではのまちづくり」に期待し、今後、弘前に住みたいと思う人が増えたら良いと思う。(10歳代・女性)
- 弘前は学生が多いまちなので、学生が定住できるように環境整備に期待する。(20歳代・女性)
- 雪の問題が大きいと思う。人口減少の問題はかなり難しいと思うが、考えてほしいと思う。(60歳代・女性)
- 「弘前ならではのまちづくり」(70歳以上・男性)

●総合戦略全般について・その他の意見 10件

- ビッグデータ、カラス駆除、意見を聞くだけでなく心理学を交えた政策。(20歳代・男性)
- 「目標⑤弘前ならではの地域づくり」は弘前らしさがあり、大変良い目標だと思います。是非目標①〜④についても東京風ではなく、弘前らしさがあるもの(弘前でベストな形)にして頂ければと期待します。雇用に関する事項については、りんごや観光に特に力を入れて欲しいし、弘前が独自に育んできた文化(津軽塗など)を強化するものであって欲しい。(30歳代・男)

性)

- 安定した雇用創出と雪対策（高齢になり自力で除雪できなくなった場合の不安解消）が移住推進の重要課題だと思うので、そこに力を入れてほしいです。（40歳代・女性）
- 実行してほしい。（40歳代・女性）
- 提示されている施策が少しでも実を結び、学生さんたちが卒業後も住んで生活していける“まち”になることを期待しています。（50歳代・女性）
- 私は、市長は子どもに対して、すばらしく愛があると思います。これからも笑顔で子ども達を見守ってほしいと思います。（50歳代・男性）
- この5つの基本目標は、独立したものではなく、全て相通じていると思う。これだけ、必要なことが判っていないながら、これらが、上手に連動できていない事が重要ポイントであると思う。どれでも、1つを突破口として、活用できれば、芋蔓式に好転していくと思う。まずは、この様に沢山の意見を汲み上げをしていることは、とても良い策だと思うが、この意見を具体的にどう活用するかが、最大必要要件だと思う。（50歳代・女性）
- 弘前の玄関である弘前駅や市内全体がきれいな環境になってきている。花丸です。ひと、くらしの施策が充実してきたので、良いまちづくりになってきたものと思われる。これからもPDCAをしっかりとやって弘前らしさを続けてほしい。（60歳代・男性）
- 人口減少対策は必要な施策とは思いますが、実情は減少化に歯止めをかけるのは難しいと感じています。人口減少を前提とした対策も視野に入れるべきではないかと思います。（70歳以上・男性）
- 人口減少対策としては①～⑤までどれも大切な目標だが、特に①、②の実現に期待したい。（70歳以上・女性）

【その他の要望】

①安定した雇用創出と地域産業のイノベーション 8件

- 行事に、これからも力を入れ、もっとPRすれば良いと思う。（10歳代・女性）
- 県外から来ている学生の定住を図るため、大学周辺に娯楽施設（カラオケ、ボーリング等）をつくり楽しい学生生活を支援、一人暮らしの費用に十分な金額を稼げるバイト募集をする。また、ブラックバイトの取り締まりを強化する。弘前は暮らしづらいと思われてしまうと、地元に戻る人が増加する気がする。（20歳代・女性）
- 働く場所がないと若者が都会へ行ってしまふ為（自分もそうだった）Uターン、Iターンもそうだが、弘大の大学生を弘前に定住させるような雇用の受け皿があれば、安泰なのになあと思っている。特に、農学部とか就農したいという話もたまに聞いたりするので。（30歳代・女性）
- 雇用環境の改善なくして弘前市への人の流れは生まれないように感じる。まずは雇用の創出。（30歳代・男性）
- 他の県で、台湾への農作物を輸出した際に、農薬の残量検査で受け入れ拒否になったとのニュースを見ました。世界的に、農薬に対する不安が高まっているので、地産地消を念頭に無農薬

栽培の方法を構築し、青森県をアピールする方法を検討していただけたら嬉しいです。（30歳代・女性）

- 雇用の確保の為工場等の誘致や税制面での優遇措置、ベンチャー企業に対する補助、子供などに対する独自の助成金などの創生。（40歳代・男性）
- 雇用創出については、近隣自治体ともベクトルを合わせ、より一層の連携・協力が必要だと思います。（50歳代・男性）
- 弘前城の天守閣の曳家を一大イベントとして取り組み、観光の目玉としたのが素晴らしい！大変良いアイデアだったと思います。（50歳代・女性）

②弘前への新しいひとの流れと定住の促進 7件

- 企業も人を育てる力が無いし、育てる気が無いので優秀な人が上京してしまう。短期的な効率を意識した場合、自分が勝手に頑張れば良いと考える人は確実に居る。その人を仕事が出来ると評価し、出世させた場合、教育に割く時間が無くなり、長期的視点で見ると会社の力が低下する。更には離職率が上がる原因にもなる。育てる仕組みを行動心理学からマニュアル化し、指導する必要があるように思う。そもそも人口減少について聞きたいならば、移住した人に聞いたらどうなのか。（20歳代・男性）
- 観光地以外の魅力やこの街に住むメリットをどんどん伝えていけば、人が集まるのではないかと。（20歳代・女性）
- 移住希望者に提供する情報は、そこに住む地域住民全員から集まるくらいの環境づくりを。紙媒体や一部代表者（町会長など）が探るだけでは十分な効果が得られない。（40歳代・男性）
- 地元で活躍したいという熱い思いを抱いてUターンしても、人脈が乏しく、方法を相談する場も少ないという声を聞きます。Uターンの移住のようにゼロから弘前を知ってもらう取り組みも必要ですが、地元を知り、即戦力として活躍できるUターン人口増加への取り組み強化に期待します。（40歳代・女性）
- 弘前が、比較的生活しやすい街であることは、住んでいる私たちは良く知っている。このことを首都圏や人口の多い地域にアピールするきっかけづくり（例えば、弘前城の曳家とか）をどんどん勧めて、弘前に興味を持ってくれる人を増やして、Uターンにつながっていけば良いと思う。（40歳代・女性）
- 「弘前への新しいひとの流れと定住の推進」への提言です。高卒者の多くが、他県に流出し、これが帰ってくるのが少ない。多くの若者が口にするのは、「弘前は遊べる所、楽しくデートできる所、買い物に不便ではないが魅力がない」という事です。数十年前は、休日には、市内の百貨店によく行っていたのに、現在は、市外のショッピングセンターであったり、はたまた盛岡まで行くこともあります。せっかく、流入人口である弘大生を弘前に定着させる為にも、雇用企業の充実と楽しい街づくりは重要だと思う。（50歳代・女性）
- CCRCについて：この着想は、地域を元気にし、弘前らしさを打ち出す意味でも大変良いことだと思います。一層推進していく点で、専門分野・系列・グループなどを組織化して、それぞれに特技の持った人材バンクの登録と推進、活動計画の立案をしてもらいたいと思います。特に、定年退職した人たちには、実績があり有能な方々が多いので、このような分野で弘前のために活躍してもらいたいと思います。（60歳代・男性）

③若い世代の結婚・出産・子育てをトータルサポート 5件

- 職場内に保育施設を作してほしい。(10歳代・女性)
- 多様な教育の展開について、弘前には学校が少なすぎる。結局、高校卒業後は県外の学校へ流れてしまうので、もっと地元でも学べる専門学校を作してほしい。地元就職につながるようにしてほしい。(40歳代・女性)
- 母子家庭・父子家庭への取り組みを入れてほしい。県外他市町村に比べて補助的な部分が少ないように思う。親の医療費も無料にする。離婚届には、養育費・面会のチェックがあるが他県外の市町村では、証明書の書類を発行しているところもある。児童扶養手当もいただけるのは大変ありがたいが、4か月に1回では(4月・8月・12月)時期的にも進学等にお金が必要な時に大変なことが多い。独自にできるのであれば生活保護と同じく月1回になれば助かる。(中には養育費を取り決めても払わないことが多いので…) (40歳代・女性)
- 東京一極集中で、東京へ行けば何でも出来るように情報が溢れている。自然の豊かさ、人間関係の尊さを子どもたちに理解されるような取り組みが必要なのでは。(70歳以上・男性)
- 私は経済支援対策しか効果は期待できないと思っています。イ. 子ども一人にいくらか ロ. 医療費・学費などは無料 ハ. 勤め人は産休時手当保障など(27年度も提言している)(70歳以上・男性)

④健やかで、生き活きらせる地域づくり 0件

⑤弘前ならではの地域づくり 7件

- 人口を増加させるには、ある程度の都市機能がもっと強化されるべきだと思う。(公共交通機関、大型ショッピングモール、娯楽施設など。)(20歳代・女性)
- 若者に人気が出るようなカフェやレストランなどをもっと増やして活性化してほしい。(30歳代・女性)
- 雪対策イノベーションの推進。新潟県長岡市では、幹線道路だけでなく生活道路に至るまで、消雪設備が整備されている。あれは快適だと思ったが、弘前では不可能なのではないでしょうか？(30歳代・男性)
- オール弘前で向かっていくためには、市民がより弘前らしさを楽しんだり、地域に愛着を持ってもらう事が必要だと思う。例えば、①市民に対して津軽塗の普及を行う。②市民のほとんど全員が津軽塗のマイ箸を愛用する。③ケンミンSHOWに取り上げられる等。④地域が盛り上がる。市民がりんごを沢山食べることで、弘前市の課題の半分は解決に向かうと思う。無理矢理でも、しつこくてももっとPRすべきだと思います。給食に毎食出すとか。(30歳代・男性)
- 県外から来た学生に弘前の魅力をアピールし、定住を促す。(大学生に声をかけ、岩木文化祭でこぎん刺し、あけびづる細工の体験をしてもらったところ、大変好評でした。)(40歳代・女性)
- 市内全体で雪を利用したイベントを行い、楽しい雪のまちをアピールする。(50歳代・女性)
- 雪対策について、小さいことだけれども町内ごとに小さいかまくらを作ったりして、冬を楽しんでもいいかと思う。公園内は大型すぎて参加しづらい点もあるように思うので。(60歳代・女性)

●総合戦略全般について・その他の意見 2件

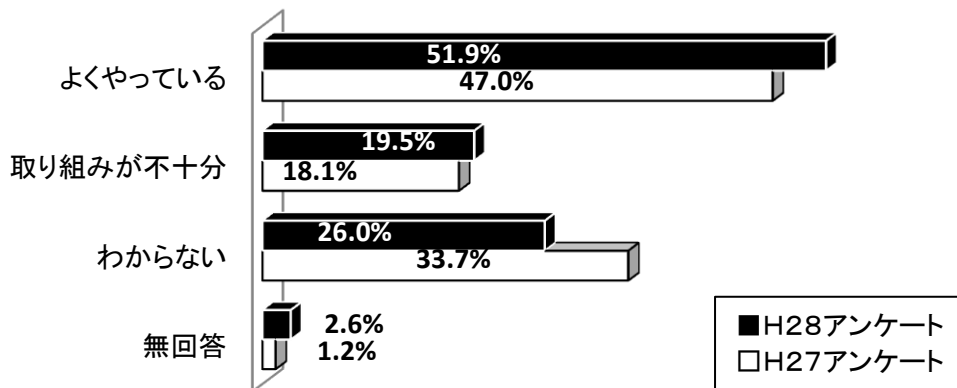
- 空き家、仕事の提供を外に向けて発信してほしい。(50歳代・女性)
- 5種類の目標達成のための計画・運用については、行政・大学・事業所・市民・学生などのパートナーシップ体制での取り組みが望ましいと思う。(70歳以上・女性)

3. 分野別政策 ひとつづくり

未来を担う人づくりを進めるため、結婚し、子供を産み育てるための環境づくりを行うとともに、確かな学力の定着や豊かな心を育む教育の充実を図る。また、多種多様な学習機会の提供や、文化・スポーツ活動を振興するなど、生涯学習の充実を図る。

「ひとつづくり」の分野における市の取組についてどのように感じていますか

「ひとつづくり」の分野においては、「よくやっている」と答えた人の割合は 51.9%となっており、平成 27 年度より 4.9 ポイント増加している。「取組が不十分」と答えた人の割合は 19.5%となっており、平成 27 年度より 1.4 ポイント上昇している。「わからない」と答えた人の割合は 26.0%となっている。



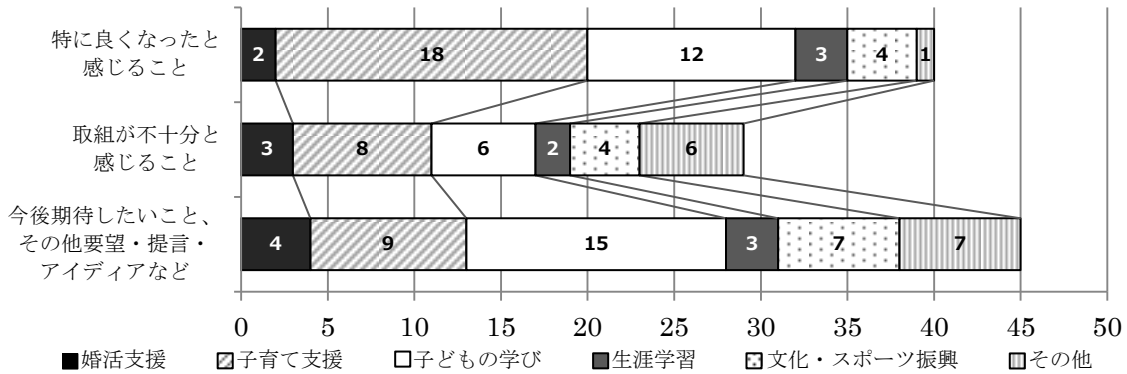
「ひとつづくり」の分野における自由意見

「ひとつづくり」の分野について「特によくなったと感じること」「取組が不十分と感じること」「今後さらに期待したいこと、その他要望・提言・アイデア」について意見を聞いた。

「特によくなったと感じること」については 40 件の意見があり、分類すると、子どもの発達支援や病児病後児保育など子育て支援に関する意見が最も多く 18 件、次いで子どもの学びに関する意見が 12 件となっている。

「取組が不十分と感じること」については 29 件の意見があり、分類すると、子育て環境の整備など子育て支援に関する意見が 8 件、次いで子どもの学びとその他に関する意見が 6 件となっている。

「今後さらに期待したいこと、その他要望・提言・アイデア」については 45 件の意見があり、分類すると、「ひろさき社(まんじ)学」新設事業について、学校・家庭・地域が連携したひとつづくりなど子どもの学びに関する意見が最も多く 15 件、次いで子育て支援に関する意見が 9 件となっている。



【この分野で特に良くなったと感じること】

●婚活支援 2件

- ・ 弘前めぐりあいサポーター事業。よくこういった貼り紙を見つけるから。(10歳代・女性)
- ・ 出会いの場を提供しようとしている取り組みを良く聞く。(20歳代・男性)

●子育て支援 18件

～ひろさき子どもの発達支援事業～

- ・ 新規事業がとても良いと思います。特に、「ひろさき子どもの発達支援事業」は、支援があることで子どもたちにとっても生活しやすくなったと思いました。(10歳代・女性)
- ・ ひろさき子どもの発達支援事業が新しくできたこと。現在、発達の気になる子どもたちが増えていて、そのことを不安に思っているお母さん方がたくさんいると聞いたので、とてもいい取り組みであると感じたから。(20歳代・女性)
- ・ ひろさき子どもの発達支援事業の新規事業は良いと感じた。(20歳代・女性)
- ・ 「気になる子」の取り組みが評価できます。小学校では、発達障害(自閉スペクトリウム障害)児の指導に苦慮されているという事も聞いておりますが、幼児期にしっかり対応できるようにした事。(70歳以上・男性)

～病児病後児保育事業～

- ・ 病児病後児保育事業が拡充されることは良かったと思います。(30歳代・女性)
- ・ 病児病後児保育事業。今年に入って職場で利用しているスタッフが増え、利用者も職場も非常に助かっているという印象です。(30歳代・女性)
- ・ 病児病後児保育の施設が増えたこと。(40歳代・女性)
- ・ 某保育園の24時間体制、病児病後児保育、そこの保育園の評判はかなり良い。そこで働く人達の環境も整っているのであろうと感じる。(50歳代・女性)
- ・ 病気や病気回復期にある児童の一時保育施設の増設は大変良いことだと思います。(60歳代・男性)
- ・ 病児病後児保育事業。1ヶ所だけど増設されたこと。(70歳以上・女性)

～子育て応援企業認定制度推進事業～

- 子育て応援企業認定事業の推進。女性が安心して出産・子育てができるはず。これからもたくさん増やしていただきたい。（70歳以上・男性）
- 子育て応援企業認定制度推進事業。認定企業がホームページで紹介され、だんだん増えてきていること。（70歳以上・女性）

～その他(子育て支援)

- ヒロコで子ども向けのイベントを結構していると思う。私もボランティアに参加したことがあるが、すごく多くの人に参加してくれてとても楽しそうだった。（10歳代・女性）
- 子育てのしやすい環境の整備。（20歳代・男性）
- 昨年、結婚や子育てに関する補助や支援制度などをまとめたパンフレットを拝見しました。弘前市が行っている支援や補助、実施しなければいけないことなど、わかりやすく書かれています。結婚や出産となるとバタバタしがちで、何をすればいいのかわからなくなりそうなので、こういうパンフレットがあるのはとても良いと思いました。（20歳代・男性）
- 児童クラブなどもでき安心して仕事ができる点。（50歳代・女性）
- 親子で参加するイベントが多くなった感じがする。駅前こどもの広場も公園も休日は、賑わっていて良いと思う。（50歳代・女性）
- 「こども食堂」の立ち上げは、とても良いと思った。一人親家庭が、多くなってきているので、場所や回数を多く出来るようになってほしい。（60歳代・女性）

●子どもの学び 12件

～「弘前式」ICT活用教育推進事業～

- プロジェクターを使った、分かりやすく合理的な授業を主流にしてほしい。（20歳代・男性）
- モデル校での実践⇒全体への水平展開と段階を踏んで着実に事業を進めており、中学校区単位での意見交換会の実施も評価できます。（50歳代・男性）

～英語教育推進事業～

- 英語教室推進事業での英語能力が上達してきていること。（10歳代・女性）
- 英語を記憶力の良い時期から学べるのは良いと思う。楽しいと感じることができれば、今後の学習継続につながるから。（20歳代・女性）

～「ひろさき祀(まんじ)学」新設事業～

- 人口減少を防ぐためにも、小・中学校のころから弘前の問題点等に触れさせて愛着をわかせることは大事なことだと思った。（10歳代・女性）
- 新規事業の「ひろさき祀学」は魅力的である。大人でも興味を持つ人がいると思う。（20歳代・女性）
- 「ひろさき祀学」には非常に期待します。弘前市が歴史ある素晴らしい街だと分かれば、おのずと弘前市のために働いてくれると思います。（30歳代・男性）

～放課後子ども教室事業～

- 放課後子ども教室事業について、拡充されたのは評価したい。ただ、地域に、学校以外の学童保育施設があっても十分に活用されていないように感じるところもあるので、学校の余裕教室を活用する場合とそれ以外の施設を使う場合の差については、検討すべき課題だと思う。(40歳代・女性)
- 放課後子ども教室事業。充実したと思う(60歳代・女性)

～その他(子どもの学び)～

- 持続可能な教育の推進を期待します。コミュニティ・スクールの仕組みを取り入れるのも非常に良いと思います。学校と地域住民が結びつくことで地域の中の学校という意識が生まれ、地域社会のコミュニティ形成にも一役買うのではと思います。(20歳代・男性)
- 時代の変化に即応した各種教育事業の展開。(60歳代・女性)
- 最近新聞で、「いじめ防止等対策審議会委員委嘱」の記事を見、この組織の出番がないことを願いつつも、弘前市にもいじめ問題が発生した時に、対応できる組織ができて良かったと感じた。(70歳以上・女性)

●生涯学習 3件

- 教育施設も充実していてイベント等も企画されていて大変良い(50歳代・女性)
- 古文書デジタル化推進事業 古文書のデジタル画像を閲覧できる仕組を構築。(70歳以上・女性)
- 古文書デジタル化推進事業の新設。市民がデジタル画像を閲覧できる機会が増えること(70歳以上・女性)

●文化・スポーツ振興 4件

- 弘前に球団を誘致する取り組みがあり、そのような点で子どもへのスポーツ活動の振興を促していると思うので、良いと思う。(20歳代・女性)
- スポーツをしやすい(20歳代・男性)
- 運動公園の野球場に1軍の選手がこれるということに対して、本当によかったです。(50歳代・女性)
- 文化・スポーツ活動の取り組みが充実していると感じます。(70歳代・男性)

●その他(特に良くなったと感じること) 1件

- 新聞記事を見てみると頑張っていると思う。(70歳代・女性)

【この分野で取組が不十分と感じること】

●婚活支援 3件

- 街コンの宣伝が悪い。あからさま過ぎる。友達を作ることを目的とした会と思わせる雰囲気づくりが絶対的に必要。一見非効率に感じるが、友達の紹介という間で相性を考えた出会いを助

長出来るので、ただランダムに人を合わせるより、効率は上がるはず。(20歳代・男性)

- 弘前めぐりあいサポーター出愛創出事業。良い取り組みだと思うのだが、この取り組みが行われていることの認知度が低いと思う。知らなかった。”結婚”ということを前提にするのでは、”交流”したい若者たちは行けない。(20歳代・女性)
- 婚姻率、出生率が低いことに対する政策が不十分です。(70歳以上・男性)

●子育て支援 8件

- 子育てをしやすい職場環境を整えることは、以前から行われているが、良い方向に変わっているのか、正直まったくわからない。(10歳代・女性)
- 安心して子どもを育てる環境は、まだまだ不十分に感じる。(30歳代・男性)
- 子育て支援に関してですが、市が支援を拡充するよりも、根本的に核家族化を防ぎ、子育ては祖父母を含めた家族で完結できるような方向に向けて欲しい。祖父母と一緒にの方が子供にとっても良いし、逆に祖父母の介護の面でも子供がいた方が良い。(30歳代・男性)
- 4月から子育て支援員になりましたが、活動費補助金の使途に制限が多すぎると思います。もう少し活動しやすくしてほしいです。(40歳代・女性)
- 発達支援事業では、私は元保育士なのですが、健診等で事前に連絡をしてもグレーの子が多く、その後のフォローがない。こちらから再度問い合わせても個人情報として取り合ってくれなかったことがある。いろいろな関係者が連携し支援することが大切だと思う。(40歳代・女性)
- 子どもを育てるための環境づくりについて、ヒロロ3階などの利用を見ると、冬場などの外を利用できない時の公園としてのコンセプトは評価できる気がしますが、子育てをしながら仕事をしている親に対する取り組みは不十分だと思います。専業主婦(転勤族など含む)などの利用が多いのでは？(50歳代・女性)
- 病児保育のサポートが少し不足気味だと思う。(60歳代・女性)
- 弘前に転勤してきた人が、子どもを保育園に入れられず困り果てていた。待機児童解消できないものか。(60歳代・男性)

●子どもの学び 6件

- 中学生は必ず何かの部活動に入らなければならないのに、自分のやりたい物がその学校にはない、というのはせっかくのやる気を喪失させてしまい、残念です。また、上手な人たちがクラブチームに所属してしまうため、人数が足りず部活がいろいろ問題があるとは思いますが、子どもがやりたいことに熱中できる環境を整えてあげたいものです。(40歳代・女性)
- ICTとかモデル校なので、モデル校以外では見えてこない。(40歳代・女性)
- 児童クラブは利用がいろいろ手がかかる部分があるので、児童館の開館時間を長くしたほうが、利用者もいいと思う。(50歳代・女性)
- 課題にもあるように、ICT環境への対応と利活用における教員の技術力・指導力は伴っているのか、また伴っていけるのかか懸念され、その習得・向上が後手とならない取り組みが必要だと思います。(50歳代・男性)
- コミュニティスクールの目指すところと地域の力量がよくわからない。「教育自立圏」もどういふ分野をどういふアイデアで進めるのか、住民の盛り上がりは現在なし。(60歳代・男)

性)

- 確認してもらいたいところですが、弘前市の小中学生の学習到達度は公表されているのでしょうか。全国や県内他市、秋田県などと比較して問題点などがあれば、義務教育分野（市教育委員会）の施策に反映させるべきかと思います。（60 歳代・男性）

●生涯学習 2件

- 「生涯学習」とは何かを理解していない事業が多いような気がする。ただのイベント、楽しければ良いというものではない。しっかりとした目的のある事業を行ってほしい。（20 歳代・女性）
- 「生涯学習」の充実を図る。言葉では理解しているようだが、実態が伴っていないように思う。社会教育（生涯学習）に関わる指導者・関係者が年々減少し、地域コミュニティの存続はどうなっていくのか。（70 歳代・男性）

●文化・スポーツ振興 4件

- プロ野球の誘致は本当に求められているのだろうか？楽天にのみに特化して他球団ファンはどうするのか？（30 歳代・女性）
- 息子が、スポーツ少年団に入団しました。入団して実感したのが、あまりにも費用が掛かりすぎることです。すべてのスポ少がそうとは言い切れないと思うのですが、費用が高額なために退団せざるを得ない子供たちをたくさん見たり、聞いたりしています。会長・役員等にコーチから打診があったようですが聞き入れてもらえず、子供たちのスポーツをする機会が奪われています。（30 歳代・女性）
- スポーツ施設が少ない（40 歳代・男性）
- スポーツ活動の振興において、その取り組みそのものは大変良いと思いますが、実際に活動する場における環境、特に衛生環境が不十分な気がします。例えば、河川敷球場のトイレの状態は酷いもので、とても管理されているとは思えません。このような環境整備もスポーツ意欲向上につながるのではないのでしょうか。（50 歳代・男性）

●その他(不十分と感じること) 6件

- 弘前の人あまり外に出て行きたがらないので、視野が狭く、社会として閉じている気がする。（20 歳代・男性）
- 弘前市があらゆる事業を行っていることはいいことだと思います。ただ、単発で終わっている事業も多々あると感じています。ひとつづくりには継続的な事業が必要だと思います。特に多様な学びの分野でそれを感じます。（20 歳代・男性）
- 定年を過ぎて暇を持て余した人も居る。一方で子育てしながら生活の為に働くしかない母親が居る。この状況がおかしいと思って欲しい。だからといって母親変わりに、定年を過ぎた近所のお爺さんに子供を預ける事は出来はしない。少子化対策をしたいなら、定年後の労働力で子育て世代に経済的支援でもしないと変わらない。少子化高齢化を一人で進めた人は子育て支援するぐらいして欲しい。また定年後の為に40代からお金を貯める風習も、再就職ができないのに、何年生きるか。分からない不安から来ていると聞く。そんなおかしな不安があるのだろうか。農業をやれば食べ物にはそんなに困らない、弘前は都会に比べ土地はある。高齢者農業倶楽部を設立し、販売利益を子育て世代に配分するぐらいの事をして欲しい。（20 歳代・男

性)

- 人口減少。(50歳代・男性)
- せっかくの企画、アイデアが、あまりPRされていない様に思う。色々な企画に自分が参加していいかどうか、二の足を踏んでいる人が多いと思う。県民性とでも言うべきか、決して興味が無い訳ではないのに、「仲間に入れて!」の言葉が言えない人が多いことを理解するべきだと思う。(50歳代・女性)
- 言葉だけで“からまわり”していないか?もっと現場の声を聞くべき。(70歳以上・男性)

【この分野で今後さらに期待したいこと、その他要望・提言・アイデアなど】

●婚活支援 4件

- 出生率、結婚率が下がってきているからと言って、”結婚”を前提とした出会いの場にしてしまうと、若者(結婚はまだ考えていない)にとって行きづらい。もっと”交流”することを前提とした取り組みをすることによって、将来的に結婚率を上げることが期待できると思う。例)年齢に関係なく、誰でも参加できる、りんごもぎ出会い体験とか。(20歳代・女性)
- 婚姻率の低下について。小学校や中学校のうちから、結婚や育児等の自分の将来についてイメージできる教育があると良いと思います。(30歳代・女性)
- 出会いの場を提供して独身者を減らしていければ、子供も増えていくと思うので、もっともっというんな形でお見合い合コンみたいなのを実施すればいいと思います。(30歳代・女性)
- 女性がもっと安心して結婚・子育てできる政策の実行(70歳以上・男性)

●子育て支援 9件

- 弘前で子どもを育てる人に、地域のひとが連携して、知識を教えたり、アドバイスを協力してやることで、より絆が深まると思う。(10歳代・女性)
- マタニティハラスメントの問題を考えてほしい。子どもが欲しくても、解雇や復帰後の環境を恐れている人もいるのではないかと思う。解決、予防策が欲しい。(20歳代・女性)
- 核家族化を防ぐ方向へ向けると、次男以下の家を出る人が問題になります。その人達に個別に支援するのではなく、どうすれば実家の近くで暮らせるかを聞けば問題の解決が出来ると思います。(30歳代・男性)
- 子育て世代への助成金や補助を厚くするべきでは。(40歳代・男性)
- 子育てに係る負担軽減については、教育費を完全に無料にするなど、徹底した対策が必要と思います。(50歳代・女性)
- これからの若い人は、共働き常の時代に入っているが、子どもに対する環境づくりは、もちろんだか親の精神的サポートも必要だと感じる。特別な事でなくても、先に子育てしてきた先輩として、悩みをかかえているのは特別なことではなく皆が通っている道だから1人で悩まないようにと伝えたい。(50歳代・女性)
- 子育て支援事業は非常に多岐にわたり、それぞれ実効性のある事業の推進は大変かと思えます。これまでの支援事業は、ハード面(施設や人材、時間など)に比重が置かれていたかと思いますが、子育てに悩む親へのソフト面でのサポート・ケアにも力を注いでもらいたいと思います。親が精神的に安定していなければ正常な育児ができないと思います。保育園、幼稚園、

小学校の先生方から、家庭での躰について嘆く声を聞きますが、子育て世代の親への相談センター、講話・研修会など一層強化してもらいたいと思います。(60歳代・男性)

- ひろさき子育てPR事業。ステキなパンフレットを市民参画センターで見たことがあり、できるだけ多くの当事者の手元に届けばいいと思った。(70歳以上・女性)
- 「子育てするなら弘前」いったい何歳の子どもを持つ人を対象に発している言葉なのだろうと疑問を感じる人が多い。人、物、金 これらに限りがあるだろうから理想ばかりは進んでいけないことはよくわかるが、私の周りでは、子育てに関わる仕事をしている人達は不満だらけである。どちらに向かって、もちろん親に向かってだと思うが、それをささえる人間がいっぱいいっぱいでは、親や子にそれを提供できるのだろうか疑問である。それと同様に、年齢の高い人たちに子どものことばかりと感じさせるのは良くないと思います。何かがではなく、片方だけが優遇されていると思わせない配慮は必要かと思います。(50歳代・女性)

●子どもの学び 15件

～「弘前式」ICT活用教育推進事業～

- 市内で電子黒板機能付きプロジェクタを行っている学校の様子をもっと知りたい。(10歳代・女性)

～「ひろさき市(まんじ)学」新設事業～

- 「ひろさき市学」事業に期待したい。自分が子どもの頃は、弘前が歴史あるすばらしい街だと気づく機会が少なかったように感じたので、義務教育期間から郷土学習を受けた子どもたちが、どんな大人になっていくのかとても楽しみ。(40歳代・女性)
- 自分が住んでいる所、弘前の事をどのくらい知っているのか、伝えられるのか、学習してもらいたい。大人になって他県の方と話した時、弘前のPRにもつながっていくと思う。(50歳代・女性)
- 郷土愛に満ちたこどもの育成のために、小学校の5年か6年生に対して弘前の歴史と文化、産業を一覧にした小冊子を編集・作成し、授業のなかで活用してもらいたい。(これまで実施してきたのであれば必要ありません)(60歳代・男性)
- こどもの学びとして「ひろさき市学」事業の新設。副読本や外部講師も考慮した「出前授業」「学校版まち歩きコース」など、学年に応じたメニューが作成され、実施できる日が早いことを期待している。(70歳以上・男性)

～子どものスポーツ・部活動～

- 子どもにスポーツをやってほしいと思いますが、昔と違い、今は部活動ではなく、習い事のようなクラブになっていて、各々活動をする場所までの送迎が必要だったり、月謝や会費が必要な為、母子家庭でフルタイムで働いている私にはやらせる事が出来ません。昔のように、学校の中で放課後に活動できる部活動を作ることは出来ませんか？(30歳代・女性)
- 教育委員会で、一定の方針を提示してほしいです。保護者の上限を設けるようなシステムを作る他、補助の充実、遠征の活用方法など、一定の範囲内で工夫して活動するような組織作りを支援していただけたら、保護者も安心して子供たちを参加させ、協力してくれると思います。(30歳代・女性)

～学校・家庭・地域の連携～

- 多くの地域と積極的な交流により、子どもにいろいろ考えさせること(20歳代・男性)

- 学年や学校を超えた交流を増やして欲しい。具体的な例でいうと、それぞれが行きたい場所を選び、学校と学年を超えた班で組む遠足。地元のリアルな友達が増えるので人口減少を止める効果も期待できるかもしれない。学年は社会勉強の為に高校生と小学生ぐらいでもいいと思う。(20歳代・男性)
- 地域社会で活躍するひとを育てるという意味では、子供と地域住民が直接的に関わることも重要だと考えます。最近の学生の特徴として、社会性の無さが挙げられると思います。私自身、学生生活を送る中でそれを感じますし、自分自身も社会性が無いと思います。社会性は学校で座学をしているだけでは身につけません。小・中学校のころからアクティブラーニングを取り入れるのはいかがでしょう。地域の課題を地域住民と考える機会があれば、弘前市への愛着も生まれるかもしれませんし、また、地域の為に何かをするという自信がつくと思います。地域住民の側から見ても、学生と関わることで地域コミュニティの形成につながる可能性もありますし、若者と地域住民が協力して物事を進めることで、街にも活気が出るのではないのでしょうか。アクティブラーニングを取り入れることで、学生の主体性を生み、またコミュニケーション能力を上げることにつながると思います。弘前市で活躍する若者をはぐくむためにも必要なことだと思います。(20歳代・男性)
- コミュニティスクールはコミュニティが形成されている地域にとっては必要なことなのだろうか？現存の地域コミュニティへの影響や教職員の負担増などがないかしっかり研究する必要があると思う。学校がリードする地域コミュニティ。現時点では理想をかざしているだけに思えるシステム。(40歳代・女性)

～その他(子どもの学び)～

- 市立小・中学校でどのような教育・取組を行っているのか、外からは分からない。私立、附属小中学校はどうかと思う。いずれ自分の子が就学するにあたり、判断材料として授業参観をしてみたいと思う。(30歳代・男性)
- インクルーシブ教育システムの構築(50歳代・男性)
- 放課後子ども教育事業 学校の空き教室の活用に地域もまきこんではどうか(50歳代・女性)
- 教師の質、向上を望みたい。いくら講習が多くしても教育への情熱、子供への愛情があまり見られないようでは、何の意味もないと思う。(60歳代・女性)

●生涯学習 3件

- 学習施設の充実、使用料の軽減(40歳代・女性)
- 大学と連携した活動はとても良いと思う。今後も続けてほしい。(20歳代・女性)
- 図書館の民営化の見直し(60歳代・男性)

●文化・スポーツ振興 7件

- 文化・スポーツ活動の振興に力を入れてほしい。(10歳代・女性)
- プロ野球一軍戦誘致。(20歳代・男性)
- 武道館があるのだから、相撲を誘致しては？スポーツだけではなく文化的な(演劇や古典芸能など)ものも誘致してほしい。昔、武道館が出来ると聞いた時、コンサートやライブ会場に転

用できると期待していたことがあります。いざ、できあがったら残念でした。(30 歳代・女性)

- 冬期間でも体を動かすことのできる施設の拡充(40 歳代・男性)
- スポーツ振興については、色々と考えられていると思うが、施設の利用方法や取り組んでいる内容が、周知されているとは言えないと思う。どれだけの人が市の中にスポーツ振興の課があり、施設を利用できるという事を知っているのだろうと思う。(50 歳代・女性)
- プロ野球用の球場は反対です。人口 18 万都市で一軍の試合など聞いたことがありません。最近でもしないことを無理してやろうとしていませんか。(50 歳代・男性)
- プロ野球の試合を誘致できないのが東北では青森県だけと考えるならば、これからは野球場の改修に期待したいと思います。(70 歳以上・男性)

●その他(さらに期待したいこと、その他要望・提言・アイデアなど) 7件

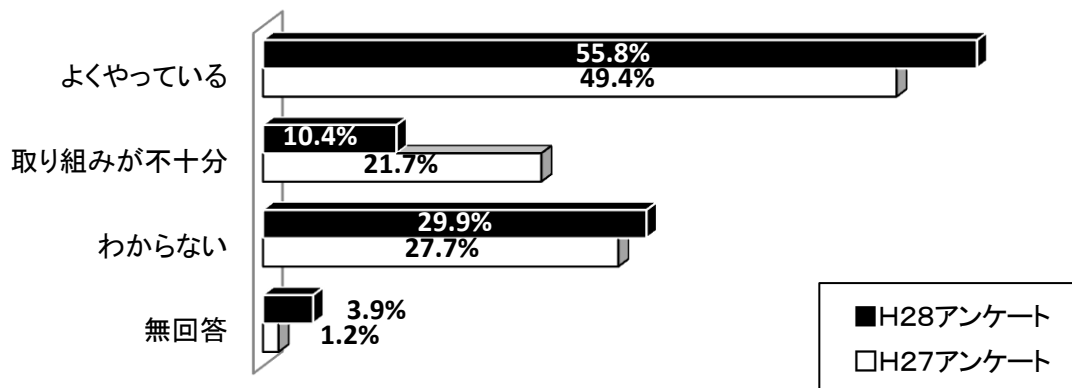
- 都市の発展には、独自の文化芸術が必要不可欠だと思います。その意味では、弘前は歴史も景観も芸術も魅力的で素晴らしいものに溢れているのに発信が不得手なように感じます。知的感性に溢れる弘前を、内と外から実感できる取り組みに期待します。(40 歳代・女性)
- ヒロロでさらにイベントを充実させて、もっと宣伝していけばいいと思う。(10 歳代・女性)
- 良く取り組んでいると思う。(50 歳代・女性)
- 学校、企業、町内会などの小単位の集団を利用して、もっと簡単に各企画内容を PR できればいいと思う。回覧板や広報HIROSAKIで目にするような企画は、具体的に何をすればいいのか、自分は参加してもいいのか分からない。誰かに誘ってもらえれば、参加する人は増えると思う。(50 歳代・女性)
- 無料で親子で参加できるイベントを増やしてほしい。(50 歳代・女性)
- 色々な方策を実行しておりますが、実効が伴っておりません。私は経済支援しかないと考えている。(70 歳以上・男性)
- やっていることはいいのですが、どれだけの人が知っているものかと?(70 歳以上・女性)

4. 分野別政策 くらしづくり

市民一人ひとりが、健康的で生き活きと暮らすことが出来るよう、保健、医療、福祉の充実を図る。
また、災害に強く、犯罪のない、安全で、安心して暮らせる地域づくりを進める。

「くらしづくり」の分野における市の取組についてどのように感じていますか

「くらしづくり」の分野においては、「よくやっている」と答えた人の割合は55.8%となっており、平成27年度より6.4ポイント増加している。「取組が不十分」と答えた人の割合は10.4%となっており、平成27年度より11.3ポイント減少している。「わからない」と答えた人の割合は29.9%となっている。



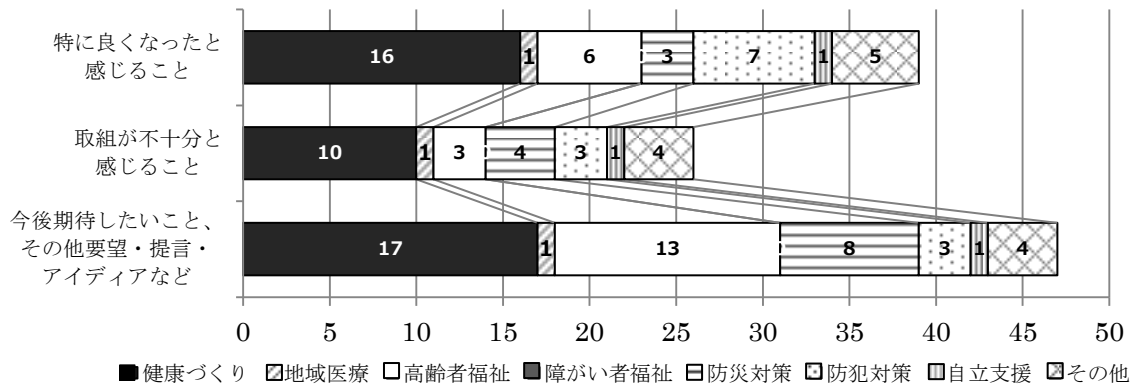
「くらしづくり」の分野における自由意見

「くらしづくり」の分野について「特に良くなったと感じること」「取組が不十分と感じること」「今後さらに期待したいこと、その他要望・提言・アイディア」について意見を聞いた。

「特に良くなったと感じること」については39件の意見があり、分類すると、いきいき健診や健康づくりサポーター制度など健康づくりに関する意見が最も多く16件、次いでLED防犯灯の設置など防犯対策に関する意見が7件となっている。

「取組が不十分と感じること」については26件の意見があり、分類すると、健康づくりサポーター制度の周知、がん検診の受診率向上など健康づくりに関する意見が10件と最も多く、次いで防災対策、その他に関する意見がそれぞれ4件となっている。

「今後さらに期待したいこと、その他要望・提言・アイディアなど」については47件の意見があり、分類すると、健康づくりプロジェクト推進事業についてなど健康づくりに関する意見が17件と最も多く、次いで高齢者福祉に関する意見が13件、防災対策に関する意見が8件となっている。



【この分野で特に良くなったと感じること】

●健康づくり 16件

～いきいき健診事業～

- いきいき健診事業（50歳代・女性）
- いきいき健診事業、健康増進プロジェクト推進事業 健康で長寿を目標にする方が増えていると思う。（60歳代・男性）
- 新規の「いきいき健診事業」と「地域救急医療講座事業」。特に「いきいき健診事業」は、高齢者にとって長寿延伸のために大変魅力的な事業なので早速申し込みをした。報道で知った他市町村の友人から羨ましがられている。（70歳以上・女性）

～健康増進プロジェクト事業～

- 健康に関心を示す方が増えています。岩木プロジェクト、いきいき健診と受けるチャンスも増え、それに伴って健康づくりのための食事、体操などが広く行われるようになったと感じています。（50歳代・女性）
- 健康増進プロジェクト推進事業 市民の健康チェック、親子の体操教室、健康づくりに関する講演等に参加している姿が見受けられた。（70歳以上・女性）
- 「健康増進プロジェクト推進事業」「高齢者健康トレーニング教室」。ヒロロでの市民の健康チェックや親子体操教室など、参加者からの好評を聞くことが多い。（70歳以上・女性）

～弘前市健康づくりサポーター制度～

- 健康づくりサポーターなど長期的な事業に取り組み始めたのはすごく良かった。10年後に成果を期待したい。（60歳代・男性）
- 健康づくりサポーター制度が作用し、年毎に充実してきています。（70歳以上・男性）
- 健康づくりについては、少しずつ改善、拡充して来ているように思います。健康推進リーダーや健康づくりサポーター制度の導入。これからは、中味で勝負。活躍を期待しています。（70歳以上・男性）
- 健幸増進リーダーや健康づくりサポーターなど市民参加のプログラムを活用している。（70歳以上・男性）

～その他(健康づくり)～

- 様々な事業・制度で、健康に関する講演会が行われており、健康への意識がより高まると思い

ました。多くの人の意識が高まり、脱短命県できればいいと思います。(10歳代・女性)

- ひろさき健やか企業認定制度が、市の入札工事に加点されるようになったこと。建設業者が積極的に取り組むのに十分なメリットなので効果的。(30歳代・男性)
- 健康。県全体としての「短命県返上」のPRが後押しとなってか、徐々に健康を意識する雰囲気広がりがつつあるのかなという印象です。(40歳代・女性)
- 健康に対する情報が増えたことで、自分の健康面に気を配るようになりました。(40歳代・女性)
- 健診のお知らせや事後指導等、以前より積極的に取り組んでいると思う。(40歳代・女性)
- 健康分野における各種事業についてよく取り組みがなされていると思います。弘前大学と連携した健康づくり事業は大変良いことだと思います。(60歳代・男性)

●地域医療 1件

- 医療体制は良いと思う。(40歳代・男性)

●高齢者福祉 6件

- 高齢者健康トレーニング教室。こういう教室を開いているのを初めて知り、祖母や祖父にも教えてあげたいと思ったから。(10歳代・女性)
- ヒロロやロマントピアで65歳以上を対象にヨガやマシンをする運動教室をするのはとても良いと思う。(10歳代・男性)
- 高齢者のトレーニング教室などは特にヒロロスクエア等で活動しており良いと思う。(40歳代・女性)
- いきいき健診やヒロロ、相馬など的高齢者のトレーニング教室、地域での体操教室など市民が健康であれという考え方は良いと思います。(50歳代・男性)
- 高齢者のいきいき健診を実施したり、健康トレーニング教室を開催したり、今まで以上に健康に関わる事が目につくようになった。(70歳以上・女性)
- 高齢者に対しては、事細かく応援していると思います。(70歳以上・男性)

●防災対策 3件

- 道路に避難所の看板がでていて、わかりやすいと思った。(10歳代・女性)
- 自主防災の意識が少しずつですが、高まっていると思います。集落のなかでも話題に上ることが多くなりましたし、災害に対する備えが進んでいます。(30歳代・男性)
- 以前、出張所が休みの時は施設によって土嚢袋が取り出せないなどということがあったが、いつでもすぐに使えるようになっていたり、地域の要望に答えている。(40歳代・男性)

●防犯対策 7件

- 弘前に住み始めてから、災害や犯罪にあったことはないので安心だと感じる。しかし、一人暮らしだと、不審者等の話を聞いたとき心配になる（大学周辺など）（20歳代・女性）
- 県や他の町とくらべると明るく、夜行動しやすい（20歳代・男性）
- 防犯のために、ステッカーを貼ったタクシーや小学校での通学路での見守りをよく目にするため、防犯のための取り組みが良くなったと感じる。（20歳代・男性）
- 学区や地域をまき込んで、防犯や児童生徒の安全確保に努力している様は、とても良いと思う。また、スマートフォン等インターネット環境を有効活用しているのも良いと思う。（50歳代・女性）
- 近所に防犯カメラがついていたのを確認できてよかったと思う。少しは犯罪の抑止につながると思う。（50歳代・女性）
- LED灯で街は明るくなった。（60歳代・女性）
- 弘前市全体がLED防犯灯が整備され、故障も少なく市全体が明るくなったように思われる。（70歳以上・男性）

●自立支援 1件

- 生活保護世帯の伸びが落ち着いたことに安心しました。世帯数の減少が、数字からも読み取ることができ、ケアが行き届いているのだと感じました。（30歳代・女性）

●その他(特に良くなったこと) 5件

- 安全・安心全般。（20歳代・男性）
- 健康、福祉において、とてもすばらしいと思う。事業、取り組みが多く、不自由がないから。（20歳代・女性）
- 地域の大学と連携し、事業を行うのはいいと思います。（20歳代・男性）
- 弘前大学との連携がうまくとれている。（30歳代・男性）
- 弘大との連携、未受診者への再通知など大変よく頑張っている。（60歳代・男性）

【この分野で取組が不十分と感じること】

●健康づくり 10件

- いきいき健診事業は、65歳より若い世代を対象に調査しなければ意味がないのでは。40代、50代で亡くなるいわゆる早死の割合が高いことが一番の問題なのではないだろうか。（10歳代・女性）
- 短命県のまま健康に関して十分と言えるわけがない。（20歳代・男性）
- 市民の健康づくり、病気にかかってからだと遅いし医療費もかさむため、かからないための対策に予算を使えばよいと感じるから。（20歳代・女性）

- 「短命県返上」をもとに、健康増進事業が多いのは良いが、それが結果につながっているのかはよくわからない。(20歳代・女性)
- 私の勤務している会社では、健康診断がありません。ありえないと思います。義務化してほしいです。(30歳代・女性)
- 働き盛り世代への取り組みの周知が不十分に思える。健康づくりサポーターや健幸増進リーダーの活動をもっと目に見えるようにしてほしい。(40歳代・女性)
- いきいき健診に町内の65歳以上の女性が応募したけど応募者多数で自分はダメだったと言っていた。健康に対し需要が多いのでこの様な場をもっと必要だと思う。(40歳代・女性)
- 長寿延伸もいいが、働く世代に対しても健康増進が必要。検診は受診しているが、その後の二次精査、通院、余暇活動でのリフレッシュと働きやすい職場づくり環境づくりに政策がかかわることはできないか。(50歳代・女性)
- がん検診の補助(無料券)は、単に市民を医療機関に行かせるためだけの対策なのでしょうか。大腸がん検診は、「血液検査」のみで、結果が判定できるということですが、医療機関からは、血液検査以外に、通常の検査が勧められます。血液検査だけの簡単な検査であれば、検査に行こうと思いますが、市の施策の意義を理解していない医療機関があるのではないのでしょうか。または、とにかく市民を医療機関に行かせるという施策なのでしょうか。(50歳代・女性)
- 「ひろさき健幸増進リーダー」の方々の活躍がわからない。町内会で何人いるのか、どんなことをしているのかわからない。(50歳代・女性)

●地域医療 1件

- 医療分野での取り組みを充実してほしい。(40歳代・男性)

●高齢者福祉 3件

- 老人医療施設の不足。(50歳代・男性)
- 高齢者福祉の充実とは何なのかもう一度みつめなおしたい。「福祉」とは?を年代別に具体的に考えてみるのも一方法かも。(60歳代・男性)
- 弘前市岩木地区外出支援サービス事業について昇降リフト付きの車両で送迎とあるが現状リフトが備っていない。歩行が不自由な方の外出を支援するには車いすごと利用できるリフト付き車両(軽自動車)にしてほしい。(60歳代・男性)

●自立支援 1件

- 生活保護世帯の自立支援の充実。一度保護世帯になると自立する方(世帯)は、極めて少ないように見える。保護世帯の子どもも・・・という感じです。もっと指導が必要だと思う。(60歳代・男性)

●防災対策 4件

- そもそも地震の少ない地域なので、油断してしまう可能性が高い。(20歳代・男性)
- 災害時の対策などについての市民の認識が不十分なのではないかと感じるため(避難ルートなども)(20歳代・女性)

- 地域における防災組織もできていないので不十分だと感じています。何とか組織づくりができないものかと思います。そしたら、訓練もやりやすいのでは。(50歳代・女性)
- 防災意識の高揚、取り組みが不十分である。自主防災組織の結成だけが先行し、活動が伴っていない。また、要支援者に関する取り組みも進んでいない。(70歳以上・男性)

●防犯対策 3件

- 防犯対策。いろいろな犯罪が多発しているから。もっと防犯についての事業を増やしても良いと思うから。(20歳代・女性)
- LED防犯灯の整備。通学に利用の多い道路で暗く危険な箇所(悪戸～駒越の河川敷等)の整備が遅れているように思います。(必要と判断していないのか?) (50歳代・男性)
- 児童・生徒・女性に対する防犯対策にもう少し力を入れてほしい。不審者による声かけ事案は年々増加しているが、住民にはあまり知られていない。事件が発生してからでは遅いので、事前の防犯対策に取り組んでほしい。(70歳以上・男性)

●その他(不十分と感じること) 2件

- 福祉政策が他市町村と比較して弱いように感じる。(40歳代・男性)
- 事業を行なうことは、けっこうだがそれを一つの団体だけが行うことは、大変でないかと思う。例えば、水やりや交通指導など。(60歳代・女性)

【この分野で今後さらに期待したいこと、その他要望・提言・アイデアなど】

●健康づくり 17件

～健康増進プロジェクト推進事業～

- 健康増進プロジェクトを受けたいが、時間が取れないため、職場や学校単位で日程を組み込んでほしい。(20歳代・女性)
- 健康増進事業を行った結果、どのような効果があったのかを示して欲しい。(20歳代・女性)
- 健幸増進リーダーの活動は重要だと思います。今後ますますの活躍を期待しています。(40歳代・女性)
- 健康増進プロジェクトを引きつづき推進してもらいたい。(50歳代・男性)

～弘前市健康づくりサポーター制度～

- サポーターさんのほとんどが、高齢の方です。もう少し、平均年齢が下がることが、この会のパワーアップにもつながるのではないかと思います。(50歳代・女性)
- サポーターに対して、町会の人達の健診への働きかけなど具体的な活動を期待する。研修を受けた！レベルアップした！をどのように活用するのか？(70歳以上・女性)
- 健康づくりサポーター制度により町会にもサポーターが配置された。しかし、研修を受けた後の活動の場がどうなっているのか？(70歳以上・女性)

～健康診断・検診について～

- 歯科の無料検診について、医療機関の治療を受けている場合、無料検診の取り扱いに決まりがあるのでしょうか。すでに、行っている治療の過程で、無料診断の必要がない場合でも、医療機関から市に請求されているということはないのでしょうか。（50歳代・女性）
- 健診後、検査が必要となった方に対し強く、強く要請？命令？出来ないか？（60歳代・女性）
- がん検診受診率向上強化対策事業 未受診者に対する再通知の実施が素晴らしいので、その結果への対応策、追跡なども含めて継続してほしい。（70歳以上・女性）

～その他(健康づくり)～

- ヒロロで健康食品市のような健康に良いものを期間限定で売ったり、作り方を教えてくれる講習会をしてほしい。私もぜひ参加したい。（10歳代・女性）
- カップ麺の値段を上げる。カップ麺に代わる、安く簡単に調理できる、健康食材の開発に力を入れる。（20歳代・男性）
- 短命県返上をかける県との連携を強めて、事業を推進すること。（20歳代・男性）
- 短命県の理由は、食事や生活習慣だけではないと思います。働き過ぎてストレスがたまっている人がたくさんいると思うので、ブラック会社の調査をしてほしいです。（30歳代・女性）
- 健康づくり等に取り組んでいる団体等に助成金を出してほしい。（40歳代・女性）
- 寝たきり防止のための啓発や健康づくりの意識づけのため、所謂「健康寿命」についても、青森県及び全国平均との比較をしてはどうか。（50歳代・女性）
- 弘前市には大学附属病院のほか、大きな病院がたくさん存在します。これらの大きな病院での病状別、通院・治療実態を統計的に把握（守秘義務などあるかもしれませんが）し、予防医学の観点から直近と将来への健康づくりに役立ててもらいたいと思います。（60歳代・男性）

●地域医療 1件

- 弘前の良い病院をピックアップし、この病院の長所は何かとかをまとめた資料を作れたら、作れば良いと思う。（10歳代・女性）

●高齢者福祉 13件

- 高齢者にも仕事を与え、元気な状態を保ってもらおう。あくまで趣味として農業倶楽部などでも可。何もしないと、筋力の低下から寝たきりになり要介護者となることもあり、若者に負担が来る。（20歳代・男性）
- 働き盛り年代の健康増進こそ必要だと思うが、高齢者の長寿延伸はそこまで重要、必要なのではないでしょうか。（30歳代・男性）
- 福祉に関する事項については、極端な言い方をすれば、高齢者福祉の拡充等は無意味であり、これ以上の無駄遣いはない。高齢者の介護には人手がいる。担っていく子供たちを増やすことが先である。当たり前の話だが、基本的に高齢者の面倒は市がみるのではなく、家族がみるものだ。（30歳代・男性）
- 弘前市の高齢化がさらに進む中で、元気な高齢者がさらに活躍できる社会作りを期待します。（30歳代・女性）

- 老人介護士の充実（50歳代・男性）
- 高齢者福祉に関しては、今後ますます重要化してくるので更なる取り組みが必要だと思う。（50歳代・女性）
- ヒロロで健康講座や体操教室等がありますが、参加するには、元気な高齢者でないとヒロロまで行けないと思う。大学の学生や講師を派遣してもらって家でもできる体操、脳トレ、講話等ができればいいと思う。（50歳代・女性）
- 高齢者トレーニング教室の運営をもう少し工夫されてはどうかと思う。税金で運営されているのでより多くの人々の利用を望みます。（50歳代・女性）
- 老人家庭、老人の一人暮らし、認知症者の取組が不十分のように思うので、楽しく話したり、物作りをしたりしながら気軽に過ごせる場所をつくってはどうか？（60歳代・女性）
- 高齢者健康トレーニング教室が拡充されたが、岩木保健センターにはトレーニングマシンなどの設備も整っており施設としても多様に利用すべきと考えます。（60歳代・男性）
- 70歳以上の施設利用の無料化の推進（60歳代・男性）
- 観光事業への取り組みは、頑張っていると思うが、地元の弱者、老人への取り組みは期待したい。バスなどを利用して、外出し、人とふれあい、運動施設を利用したりすれば、ひきこもり、ボケをいくらかでも防げるのでは？（70歳以上・女性）

●自立支援 1件

- 「弘前自立支援介護推進事業」 高齢者にとって必要な有難い支援事業なので、対象者への分かりやすい説明会を地域公民館などの事業として開催してほしい。（70歳以上・女性）

●防災対策 8件

- 防災等が伝わってない気がするので、何かある前に知らせる工夫をしてほしい。（20歳代・男性）
- 若い人達は、災害などの対策や避難ルートをインターネットなどで確認することはできて、高齢者はできない（難しい）ため、広報に載せたり、何かと一緒に送付するなど。（20歳代・女性）
- 学生の防災意識はかなり低いと思います。どこに避難すればいいのかわからなかったり、周りに頼れる知人がいなかったりと、一人暮らしをしている学生は不安に思っているようです。学生に対して防災情報を発信する仕組みや、学生のコミュニティ形成が必要だと感じます。（20歳代・男性）
- 市の防災訓練が、もっと一般市民の参加しやすいものにならないでしょうか？消防、自衛隊、医療スタッフ等の関係者はもちろんですが、大勢の一般市民が参加することによって、防災意識の向上につながると思います。（30歳代・女性）
- 防災に関する事項では、近所づきあいを活発にすることが防災の一番の備えであると思います。「自分の身は自分で守る」は当然ですが、「自分だけ」という印象を受ける人もいます。そう

ではなく、「自分達の集落は自分達で守る」の意識付けが大事だと思います。(30歳代・男性)

- 防災意識啓発の機会は、今後も時期・年代を問わず、継続して提供してほしい。(40歳代・女性)
- 災害に強い街づくり。いつ起きるかわからない災害に対して、防災マップ、避難場所確認等、どこにいてもすぐわかるように掲示したり、毎戸配付したり徹底してほしい。(50歳代・女性)
- 地域防災組織には、多額の補助金を出しているのに、毎年1回、活動状況の報告を求めるか、定例会議を開催し、状況把握に努める必要がある。(70歳以上・男性)

●防犯対策 3件

- 防犯を考えると農村部ほどカメラの設置が必要かと思う。学校のほかに設置されている箇所が少ない。住民の眼が見張っているが、それも絶対ではない(必ずしも他人に関心が高いわけではない)時代になっている。(40歳代・男性)
- 学生の子どもがおり、部活帰りなど20時以降の帰宅も多く心配なため、LED防犯灯を更に増やしてほしい。(40歳代・女性)
- 安心・安全な生活環境づくりのために：全国的にいつでも発生している凶悪な犯罪には心が痛みます。予算的な制約もあるかと思いますが、弘前市も順次計画的に防犯カメラの設置をすすめてもらいたいと思います。(60歳代・男性)

●その他(さらに期待したいこと、その他要望・提言・アイデアなど) 4件

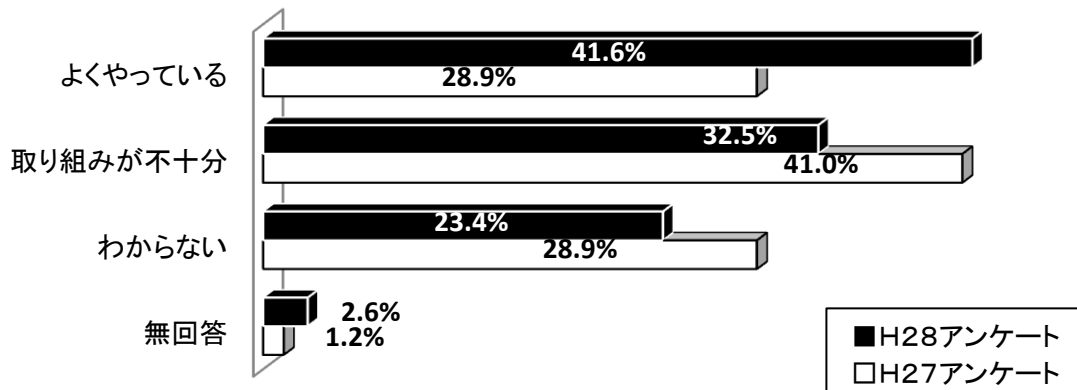
- 市の取り組みがわからない。(10歳代・女性)
- 各自の意識が大切だと思う。安全・安心については、地域や町内会での取り組みも必要と思う。(40歳代・女性)
- 国保料の見直し。(60歳代・男性)
- 良い事業をしていることはわかっているけど自分から進んで出ていかないと。(70歳以上・女性)

5. 分野別政策 まちづくり

市民生活に大きな影響を与える冬季の雪への対策のほか、美観等を考慮した住環境の整備や多くの役割を果たす公園の整備、道路網や上下水道の整備など、都市基盤の充実を図る。また、循環型社会の形成を目指し、エネルギーや環境に対する取組を行う。

「まちづくり」の分野における市の取組についてどのように感じていますか

「まちづくり」の分野においては、「よくやっている」と答えた人の割合は41.6%となっており、平成27年度より12.7ポイント増加している。「取組が不十分」と答えた人の割合は32.5%となっており、平成27年度より8.5ポイント減少している。「わからない」と答えた人の割合は23.4%となっている。



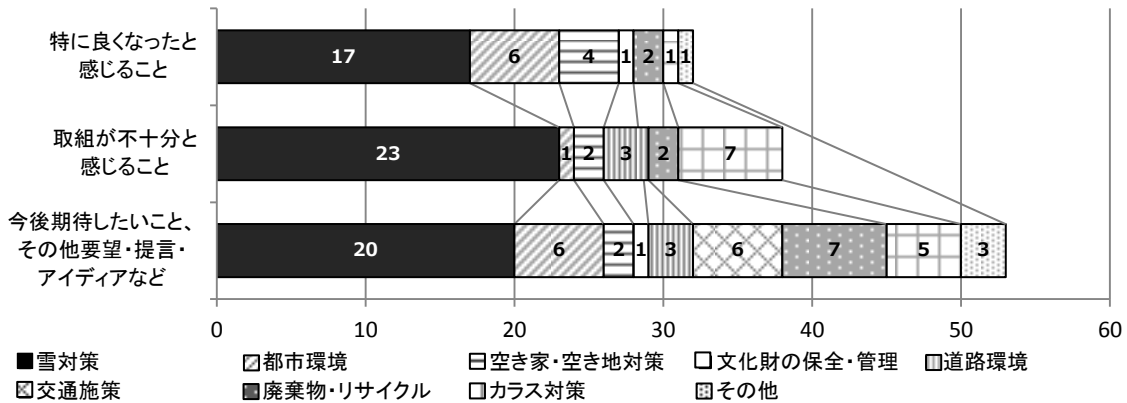
「まちづくり」の分野における自由意見

「まちづくり」の分野について「特によくなったと感じること」「取組が不十分と感じること」「今後さらに期待したいこと、その他要望・提言・アイデア」について意見を聞いた。

「特によくなったと感じること」については32件の意見があり、分類すると、除雪が丁寧になったことや融雪・消雪設備など雪対策に関する意見が17件、次いで弘前城本丸石垣整備など都市環境に関する意見が6件、空き家・空き地対策に関する意見が4件となっている。

「取組が不十分と感じること」については38件の意見があり、分類すると、除雪が不十分、歩道が確保されていない、消流雪溝の不足など、雪対策に対する意見が6割を超え23件となっている。次いで、カラス対策に関する意見が7件となっている。

「今後さらに期待したいこと、その他要望・提言・アイデアなど」については53件の意見があり、分類すると、冬期間の快適な生活を望むなど雪対策に対する意見が最も多く20件、次いでごみや二酸化炭素の排出量の削減など廃棄物・リサイクルに関する意見が7件となっている。



【この分野で特に良くなったと感じること】

●雪対策 17件

～除排雪～

- 除雪がとてもきれいだと思う。(10歳代・女性)
- 除雪作業などありがたい。頑張ってもらいたい。(20歳代・女性)
- 満足とは言えないけれど、除排雪は良くなってきたと思う。除雪業者の会社名と除雪区間を閲覧板で確認できるし、ていねいにしてくれていると思う。(50歳代・女性)
- 冬場の道路除雪がていねいになった。(60歳代・男性)
- 雪対策、除雪対策は、細部にわたって実施されています。(70歳以上・男性)
- きめ細かな除雪対策 全体的に良好である。(70歳以上・男性)

～融雪・流雪溝～

- 融雪関連 (20歳代・男性)
- 坂に雪が積もらないように融雪装置を道路に埋め込んだこと (20歳代・男性)
- 融雪設備が増えた (20歳代・男性)
- 融雪システムの拡充は大歓迎です。マイカーで通学していますが、融雪システムがある道路は走りやすいです。(20歳代・男性)
- 融雪溝が増えている事。(40歳代・女性)
- 冬の道路はとても利用しやすくなったと感じています。地熱利用の融雪についても関心を持っている方も増えています。(50歳代・女性)
- 年々良くなっているように思います。狭い道路での消雪対策等、今後も順次拡大してほしい。(70歳以上・男性)

～雪置き場～

- 空き地を雪置き場に活用しているのは、いい事だと思います。(30歳代・女性)
- 町会雪置き場事業は雪を捨てる場所がない地域では、とても助かると思います。(40歳代・女性)

～その他～

- 冬の雪対策は良くなっていると思う。(10歳代・女性)
- 雪対策については、市民からの要望を受けながら、多岐にわたり良く行われていると思います。(60歳代・男性)

●都市環境 6件

- 街中に花が増え、きれいで良い。(10歳代・女性)
- 城の事業。(20歳代・男性)
- 弘前城本丸石垣整備に関連した活用事業が、内外に良い効果をもたらしていると思います。(50歳代・男性)
- 弘前公園のお城の引っ越しは、とても上手に活用できていたと思う。ここで終わらず、ここからの一つ一つの工程も上手にPRして、住民はもとより、他県の方々にも興味をもってもらえたらいいですね。(50歳代・女性)
- 都市公園の整備、トイレの清掃がいきとどいていると思う。(60歳代・女性)
- 都市環境作りも多額の予算を伴うことですが、継続的・計画的に事業が行われていると思います。(60歳代・男性)

●空き家・空き地対策 4件

- 空き地をあまり見なくなった気がするため、活用が進んでいるのが分かる。(20歳代・女性)
- 空き地・空き家バンクなど、活性化につながる事業を身近に感じることができました。行政の支援が、住宅の購入意欲を引き出してくれたので、今後とも続けてほしいです。(30歳代・女性)
- 空き家・空き地の利活用事業 空き家の解体が見られるようになった。(60歳代・女性)
- 空き家の整備、美しい町になっている。中央駅も整備されると、通学の学生も助かると思う(70歳以上・女性)

●文化財の保全・管理 1件

- 文化財の保存は、めざましいと思う。(60歳代・女性)

●廃棄物・リサイクル 2件

- 子どもたちのゴミに関する知識が年々身についています。(50歳代・女性)
- ごみ集積ボックス設置費補助事業 集積ボックス設置によって、ごみが出しやすくなり、カラスによるごみの散乱も減り、ごみ集積場周りの景観が良くなった。(70歳以上・女性)

●カラス対策 1件

- ・ カラスの大群を見かけなくなった。(50歳代・女性)

●その他(特に良くなったと感じること) 1件

- ・ 様々な課題をしっかりと捉え、検討を重ねて解決策を考えている。(60歳代・男性)

【この分野で取組が不十分と感じること】

●雪対策 23件

～除排雪～

- ・ 広野から千年駅へむかう道で、冬除雪がいきとどいていなく、大変歩く道が狭く車のすれ違いにもやっとなで歩いて行く時余裕を持って家を出ているのに、電車の時間ギリギリになってしまふ。(10歳代・女性)
- ・ 私が住んでる石川では、少しだけ降って雪がいらぬ時も除雪車がきて、家の前に固い雪をどっさりおいていくのはやめてほしい。除雪必要なときはありがたいが、いらぬ時は騒音になるのでやめてほしい。(10歳代・女性)
- ・ 雪の量もあるが3車線が1車線近くまでになるのは除雪としては不十分。(20歳代・女性)
- ・ やはり除雪の問題は不十分と感じます。財源も限られている中で住民が満足するような除雪をするというのは難しいことは重々承知していますが、弘前の冬の道路は走りにくいので、改善をお願いしたいです。(20歳代・男性)
- ・ 冬季の除雪が地域により、差があるように思える。(30歳代・男性)
- ・ 除雪について、委託業者によるレベルに差がある。また、除雪プランにサイドシャッターを取り付けたものを見かけない。(30歳代・男性)
- ・ 排雪が十分でないと感じる事がある。(40歳代・男性)
- ・ 大きい道路は良いが、路地もきっちり除雪してほしい。また、排雪も同様。イベントにお金を使うより、除雪対策にお金を使ってほしい。(40歳代・女性)
- ・ 冬季の雪の対策の業者への指導は必要ではないでしょうか。(50歳代・女性)
- ・ 雪対策、特に歩道の除排雪、歩道へ入ろうと思っても雪の山を越えなければ入れない。凸凹あふないと思うけれど、車道を歩くという人が多い。老人には住みにくいまち。(70歳以上・女性)
- ・ 雪国にとり除排雪対策は最重要施策の一つである。除排雪のインフラがある地域とそうではない地域(こちらが圧倒的に多い)の格差が縮小していない。除排雪業者への指導も必要である。(70歳以上・男性)
- ・ 冬期間の道路環境の向上について一冬期間、郊外住宅地域の交差点付近の除雪が不十分な時があり、視界不良や轍道路のために、学童や車の通行に苦労している。(70歳以上・女性)

～融雪・流雪溝～

- ・ 融雪設備や消流雪溝の整備箇所が極めて局所的、限定的。(30歳代・男性)

- 自宅前に歩道があるのですが、流雪溝もあるため助かっています。が、両隣が空き家と空き地になっているため通学路を確保できない。（空き家の持ち主からは、雪片付けもするな!!と言われている）（40歳代・女性）
- 消流雪溝の整備について。全く使用していないところに整備する必要はない。整備した結果どの位使われているのか報告する義務はないのか。（50歳代・女性）
- 道路融雪施設整備事業、道路融雪対策推進事業は、自分の住む近くには実施されていないように思う。（60歳代・女性）
- 冬の快適な道路環境の形成とあるが、流雪溝もなく何十年も不快な思いをしている地域がある。今年は少雪で良かったが、排雪等も幹線以外はあともわしである。（60歳代・男性）
- 融雪溝の水が少なく歩道の雪片付けに町内の方々が苦労した。（70歳以上・女性）

～雪置き場～

- 冬に土地を活かせていない。住宅街の雪置き場用の土地の確保が足りない。（20歳代・男性）

～間口除雪・除雪困難者の支援～

- 除雪車が家の前に雪を置いて行った後、隣の家や道路に雪を捨てている人が何人もいる。せっかく除雪して道路を広くしてもこういう人がいると意味がない。こういった問題があることを把握し、注意・呼びかけをして欲しい。（20歳代・女性）
- 冬に除雪した雪を家の前に積み上げていくのはやめてほしい。（20歳代・女性）
- 毎年同じ繰り返しのように感じる冬季雪対策。除雪車の後の住宅間口の大量においていかれた雪のかたまりの処理には閉口するばかりですが、雪国に住んでいる以上どうしようもない現状なのかとあきらめるしかない様なあきらめきれない様な…。（40歳代・女性）
- 住宅間口への雪のかたまり置き去り対策。（70歳以上・男性）

●都市環境 1件

- 公園の整備に関してですが、遊具が減り、寂しいです。安全面を考えると仕方ないのかもしれませんが、小さい子どもを持つ親としては何とかならないものかと思います。（40歳代・女性）

●空き家・空き地対策 2件

- 空き家や空き地が目に見えて増えているが、利活用が行われている様子がまだ実感できていません。（法整備など難しいこともあるのでしょうか）活用されずにただ放置されていることは純粋にもったいないなと思ってしまいます。（40歳代・女性）
- 「空き地」のうち、相続手続きを長時間放置したため、関係者が離散し、対応のできない物件がある。今後増えることも予想され、行政としての対応を注目している。（60歳代・男性）

●道路環境 3件

- 道路網の整備が必要ではないか。（40歳代・男性）

- 城下町である弘前では仕方がないのだが、道路が決して安全には出来ていない。その為、朝の登校時間の自転車の危険な事は周知である。改善の余地が多いにありそうだ。他県のドライバーが言うのだが、弘前のドライバーは優しくない！譲り合い、お先にどうぞ運転が必要だと思う。（50歳代・女性）
- アップルロード西廻り路線の完成が遅いのでは。（60歳代・男性）

●廃棄物・リサイクル 2件

- 市内のあちこちで見かける太陽光パネルは、どんな具合なのか知りたいです。太陽光エネルギーの有効性が分かれば、各家庭でのパネル設置も、もっと推奨していけるのでは？（50歳代・女性）
- エネルギー・環境 拡充3事業のPR不足を感じている。3・3運動のボックス設置は知らない市民が多いと思っています。（70歳以上・男性）

●カラス対策 7件

- 冬のカラスが気になります。電線にたくさんとまっていて、下にいるとふんが降ってきて大変です。また、次の日の朝になるとふんだらけで若干匂いもする気がしています。（10歳代・女性）
- 街なかカラス事業 カラスによってごみが散乱しているのを見つけるから。（10歳代・女性）
- カラス対策をしているとのことだが、駅周辺の居酒屋の前が荒らされている光景をよく目にする。（10歳代・女性）
- カラス対策。本当に困っています。（20歳代・女性）
- カラスが多いと思う。ゴミはよく荒らされている。（20歳代・男性）
- カラスが一向に減らない。（30歳代・男性）
- カラス対策は、なかなか良いアイデアが浮かばないと思うが、現状では不十分だと思う。（50歳代・女性）

【この分野で今後さらに期待したいこと、その他要望・提言・アイデアなど】

●雪対策 20件

～除排雪～

- 弘前は黒石や平賀方面に比べて除雪があまり行き届いていないので、せめて通勤時間に間に合わせて除雪して欲しい。（10歳代・女性）
- 除雪で歩道は確保するようにしてほしい。（20歳代・女性）
- 除雪の委託については、苦情の多い業者を排除しては。（30歳代・男性）
- 除雪車のサイドシャッターの経費は大変な額だと新聞で読んでいましたが、とにかく少しでも朝の雪の処理を軽減させてほしいです。サイドシャッターに効果が見られるよう是非どんどん

普及してほしい。(40歳代・女性)

- 雪対策において、もっと町内会や地域を有効活用できないだろうか？雪かき状況町内会対抗で競わせてみては如何だろうか？一生懸命、雪かき作業をしている人達を何らかの形で認めてあげる事は出来ないだろうか？これは、雪かきの功労者であるおじいちゃん、おばあちゃんの力(やりがい)になるのではないだろうか。(50歳代・女性)
- 依頼する業者の優劣があるのか、地域によって差がある。タクシーの運転手が言っていた。「偉い人が住んでいる地域」なのかとも。(70歳以上・女性)
- 除排雪のボランティアに若い力を活用してほしい。(70歳以上・男性)

～融雪・流雪溝～

- 急な坂や高齢者の方が多く通るというところを中心に融雪装置を設置すること。(20歳代・男性)
- 融雪溝、いつ家にはくるのでしょうか？雪の捨てる場所がない狭い住宅地に限ってないんですよ。(30歳代・女性)
- 融雪道路の導入。(40歳代・男性)
- 融雪溝などの充実をお願いしたいです。特に、住宅の中という基幹になる道路からという気がします。(50歳代・女性)
- 年次計画による主要交差点等のロードヒーティングは不可能なことなのか。ぜひ考慮して欲しい。(70歳以上・男性)

～雪置き場～

- 雪を捨てる場所が少ないので、公園に雪を捨てる様にしても良いのではないかと。(50歳代・女性)
- 空き地への雪置き場の設置について、町会組織へ権限を委譲してはどうか。(70歳以上・男性)

～間口除雪・除雪困難者の支援～

- 新規で家を建てる人に除雪しやすい建物の建て方をアドバイスする人が居てもいいと思う。比較的新しい団地でも、除雪しやすいように建てられていない建物が多い。(20歳代・男性)
- 高齢者家庭が増えているので、除雪機購入時に助成を出す。(40歳代・女性)
- 高齢化で雪置き場まで運べなくなっている。それを解決できる方法を期待。(60歳代・女性)

～その他(雪対策)～

- 除雪については置き雪だけが問題ではない。融雪剤による自動車の腐食は自動車保有者にとっては多大な損害になっている。融雪剤の効果の再検証、剤の選択、融雪剤を使わずにより良い除雪のあり方などを考えて頂きたい。(40歳代・男性)
- 雪対策は、行政だけでは十分な対策はできないと思うので、地域との連携が必要だと思う。(50歳代・女性)
- 雪対策。(50歳代・男性)

●都市環境 6件

- 花をもっと増やせば、より良くなると思う。花の種類名も端に添えておけば、興味をもっと出ると思う。(10歳代・女性)
- 大型のショッピングモールができれば、あちこち買い物に行かなくて済むので、車の利用も少なくなり、環境にも良いと思います。また、娯楽施設が少ないので、子どもたちが遊ぶ場が限られているのが寂しいです。簡単にできることではないと承知していますが、一市民の声として検討していただきたいです。市政に大変期待しています。(20歳代・女性)
- 大学周辺に、大きな遊びに行けるような建物がないのが不便。(20歳代・女性)
- 農村部ほど住民が集える公園が無い。車通りが気になる道路は昔と違って遊び場となることは無く、害獣が多い山川も遊び場にはなりえない。子供からお年寄りまで安心してくつろげる広場が必要と思う。景観も問題ある潰れた家屋の土地を公園化してはどうか。(40歳代・男性)
- せっかく、城下町の観光都市なのだから、街並みも城下町っぽくしてゆければ、集客に有効では？白と黒の建物だというだけで、とても城下町らしくなるようです。(50歳代・女性)
- 生活基盤整備事業は、自分の住む地域の生活改善を優先的に考えるため、市内各地域のバランスを考えながら、市政で中長期的展望にたって、計画的に行ってもらいたいと思います。(60歳代・男性)

●空き家・空き地対策 2件

- 空き家で住めそうな物件は、市営住宅の賃貸として貸し出してもらえたりはしないのですか？あれば、借りたいです。(30歳代・女性)
- 景観の課題として、最近空き家がよく目に付く。災害時には大規模化する恐れ等があるので、難しい問題だが積極的に取組んでもらいたい。(30歳代・男性)

●文化財の保全・整備 1件

- 文化財を保護するだけではなく、利用することも重要だと思います。第八師団長官舎にコーヒー店が入り、利用者も多いですね。しかし、あの建物が何に使われていたのか知らない人も多くいます。このように弘前市内にある文化財は保存するだけで、それが何であるのか説明が足りないように思います。文化財を観光にも利用するなら、観光客にもわかりやすい説明書き、そして外国人観光客にも対応した多言語での表示があるといいと思います。(20歳代・男性)

●道路環境 3件

- 鱒ヶ沢へ向かう県道の充実のために、県へ働きかけを行って欲しい。県道3号線は良くなっているが、31号線はまだ充実とは程遠い。長い目で見た場合、新幹線が通らない弘前市にとって海へ向かうこの道は大変重要なものとなる。(30歳代・男性)
- アップルロードが観光ルートになるということだが、サイクリングロードとかになると正直、秋の収穫時期は、交通の邪魔になるだろうし、春から夏は農薬散布で苦情が出るんじゃないかと思っている。もし、そうなるなら農家としては困る。(今でもアップルロード沿いの農薬散布は大変なので)(30歳代・女性)

- 歩道にもっと気を配ってほしい。歩道は、車が出やすいように傾斜している。細い道は老人には歩きにくい。特に冬。(70歳以上・女性)

●交通施策 6件

- リゾート白神だけでなく、五能線などの普通電車の本数を増やしてほしいです。(1時間に1本など)(10歳代・女性)
- バスの便が少ない気がします。最終が早いので、もう少し遅くして欲しいです。(弘前駅~大鰐方面など)特に冬は利用することが多いので、冬だけでも本数を増やして欲しいです。(10歳代・女性)
- まちなかおでかけバスは大変助かっています。欲を言えば、中学生まで対象にして頂けるととても助かります。(40歳代・女性)
- 歩道は私道ではないので、通学路を確保できない所は見回って確保してほしい。(40歳代・女性)
- 100円バスの利用は多くなってきていると思うが、地域内に片寄っているように思うので、下町や浜の町、岩木方面など考えてほしいと思う。(60歳代・男性)
- 公共交通の利便性の向上について、課題をあげているかが、「足の弱者」には切実なこと。便利なヒロ口はありがたい。市のいろいろな催しや運動施設へも健康弱者は行けない。弘南バスの100円はありがたい。しかし、土手町は停車の感覚がやたら近いのに比べ、城東は同じ道をひきかえしたり、もっと利用しやすい工夫が求められるので、弘南バスと協議してほしい。(70歳以上・女性)

●廃棄物・リサイクル対策 7件

- ごみの減量、リサイクル率向上について、全国平均との隔たりが大きいことを市民一人一人に自覚させる工夫はまだ必要で、期待したいところ。(40歳代・女性)
- ごみ排出量やリサイクル率について、全国平均や青森県平均との比較が紹介されますが、二酸化炭素の排出量についても同様の比較をして、削減の啓発を行う必要があると思います。(50歳代・女性)
- 多種多様な施策を実施すると、二酸化炭素の排出量は増加すると思います。二酸化炭素排出量の削減は、大変困難であり、徹底した抑制が必要と思いますが、市の取り組みが鈍っているように感じます。(50歳代・女性)
- 衣類回収ボックスの設置を利用している人を見かけ、これがたくさんの市民に広がればよいなと思う。(50歳代・女性)
- ごみ対策 粗大ごみ以外の中で、一番多いごみはどんなものですか?内容を知らせてほしい。多いごみから有料にしてはどうですか?ドイツでは全部のごみが有料です。有料にしたらごみが10分の1にごみが減ったそうです。(70歳以上・男性)
- ごみの減量とリサイクルの向上への取組—雑紙、衣類、小型家電などの回収拠点の設置が好評を得ているが、桜・お城・りんごで有名な観光都市弘前のごみ排出量とリサイクル率最下位ク

ラスという残念な状況を改善するために、3Rへの取り組みなど、弘前3・3運動推進を多くに期待している。(70歳以上・女性)

- ごみの再生利用活動を強力に進めてほしい。例) 各家庭から出る生ごみなどのたい肥としての活用利用。山形市など全国で取り組んでいる所はたくさんある。農業、農家への再利用です。(70歳以上・男性)

●カラス対策 5件

- カラスの駆除。ゴミ捨て場の整備(網をかけただけでは荒らされている)(20歳代・男性)
- 今回拡充された、街なかカラス対策事業にとっても期待しています。カラスには本当に困っています。せっかくの弘前公園がフンで汚れてしまいます。期待しています。(20歳代・女性)
- 弘前市は本当にカラスが多いと思う。観光客もびっくりにしている。真剣にやっつけるか、観光資源にするかどちらかだと思う。韓国ではカラスを食べるのでカラスが居ないと聞いたことがあります。研修してみてくださいはどうでしょうか。冗談でなく捕獲して輸出できないもののでしょうか。または、いっそのこと、カラスを弘前市の鳥として設定し、共存の道を模索する。たか丸くんの公式ライバルキャラクター“から丸くん(楽天のMr.カラスコみたいな)”を作成してはどうか。(30歳代・男性)
- 街中で夕方にカラスの大軍を見ると、恐怖すら感じます。対策をされているとは思いますが、根気強く、改善に向けて取り組んでいただきたいと切に願います。(40歳代・女性)
- カラス対策は継続してお願いします。(50歳代・女性)

●その他(さらに期待したいこと、その他要望・提言・アイデアなど) 3件

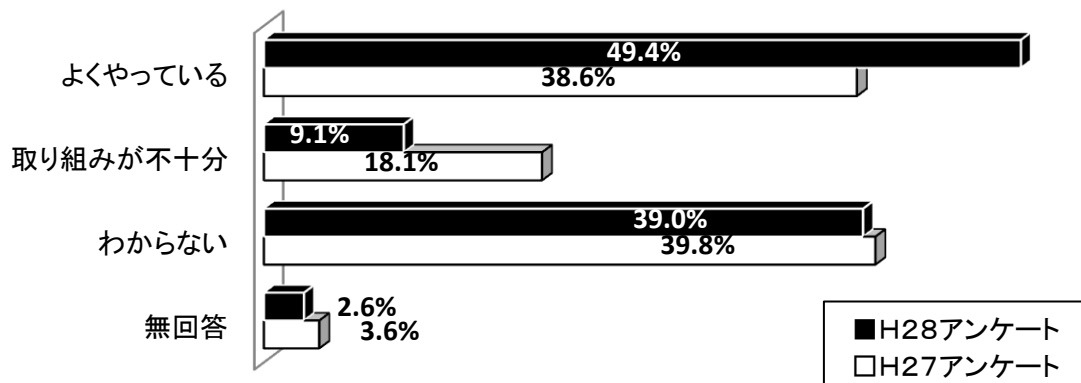
- 市の事業がわからない。(10歳代・女性)
- このまま推進していただきたいです。(50歳代・女性)
- この分野で特に何か良くなったとは感じにくい分野だと思います。自分の住んでいる場所やよく通る場所でなければ分かりにくいと思います。出来れば事業が行われている場所を見学できる配慮を。(50歳代・女性)

6. 分野別政策 なりわいづくり

激化する国・地域間競争や地域格差の拡大に対応するため、地域資源の付加価値を高めるとともに、新たな取組への支援を行うなど、地域の総合的な産業競争力の向上を図る。

「なりわいづくり」の分野における市の取組についてどのように感じていますか

「なりわいづくり」の分野においては、「よくやっている」と答えた人の割合は49.4%となっており、平成27年度より10.8ポイント増加している。「取組が不十分」と答えた人の割合は9.1%となっており、平成27年度より9.0ポイント減少している。「わからない」と答えた人の割合は39.0%となっている。



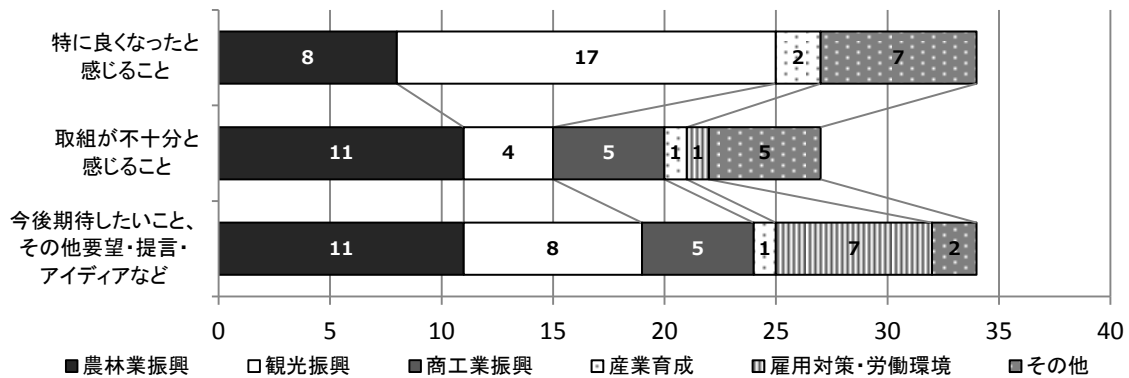
「なりわいづくり」の分野における自由意見

「なりわいづくり」の分野について「特によくなったと感じること」「取組が不十分と感じること」「今後さらに期待したいこと、その他要望・提言・アイディア」について意見を聞いた。

「特によくなったと感じること」については34件の意見があり、分類すると、観光客の増加や観光面での取組がよく行われているなど観光振興に対する意見が17件と最も多くなっている。次いで、基幹産業であるりんご産業の活発化や青天の霹靂のPRなど農林業振興に対する意見が8件となっている。

「取組が不十分と感じること」については27件の意見があり、分類すると、耕作放棄地の対策、農業後継者の育成など農林業振興に対する意見が11件と最も多く、次いで、中心市街地の活性化など商工業振興に対する意見とその他の意見が、それぞれ5件となっている。

「今後さらに期待したいこと、その他要望・提言・アイディアなど」については、34件の意見があり、分類すると地産地消の推進やりんご産業への新たな取り組みの必要性など農林業振興に対する意見が最も多く11件、次いで観光振興に対する意見が8件、雇用対策・労働環境に対する意見が7件となっている。



【この分野で特に良くなったと感じること】

●農林業振興 8件

～りんご産業～

- りんごの加工品（アップルパイやシードル等）の種類が増え、農家の方、業者の方の取り組みに期待しています。（50歳代・女性）
- りんご産業が活発化してきた。（60歳代・男性）
- りんご産業イノベーション支援事業 ひろさきりんごの輸出拡大、りんごシードルの国際大会での受賞などメディアで見聞きすることが多くなっている。（70歳以上・女性）

～青天の霹靂～

- 青天の霹靂のPR、テレビで結構目にしました。（30歳代・女性）
- 青天の霹靂特A米を取得した事によって更に青森県のお米の生産・売上UPが期待されて良いと思う。（40歳代・女性）

～その他(農林業振興)～

- 若い農業者の後継者育成事業。（60歳代・男性）
- 土づくり助成、就労支援、りんご産業イノベーション推進事業など。（70歳以上・男性）
- 去年は青天の霹靂が話題となり、今年もアオレンのリンゴジュースが海外に輸出されるなど、農業部門の広報や、海外を見据えた事業などが実を結んでいると思います。（20歳代・男性）

●観光振興 17件

- ふらいんぐういっちの街ということもあり弘前が有名になった。宣伝効果が出ていると思います。（10歳代・女性）
- 弘前城の曳家工事はとても話題になったので、PRがよかったと思う。（20歳代・男性）
- 祭り関係は人を呼べている。（20歳代・男性）
- 観光分野がたくさん拡充されていること。弘前の良さをもっと広めたいから。（20歳代・女性）

- 観光に関してはよくやっていると思う。これからも多くの人に弘前市の魅力を伝えていって欲しい。(20歳代・女性)
- 観光振興に関し、様々な取組が行われ、効果が出ていると実感できる。(30歳代・男性)
- デスティネーションキャンペーンは良い。弘前市のブランド価値がちょっとでも上がっている感じがする。(30歳代・男性)
- 広くPRされ、外国人観光客の誘致に向けた準備・取り組みが進められている。(50歳代・女性)
- 弘前公園を中心に全国発信している観光事業はとても良かった。(60歳代・男性)
- 観光面は良くなってきていると思う。(60歳代・女性)
- 観光に関しては良いと思う。外国人の観光客が増えているように感じる。(60歳代・女性)
- 観光振興の多様な事業。(60歳代・男性)
- 桜まつりが終わった後もパンフレットを持って歩いている観光客が多いと感じる。(70歳以上・女性)
- まつりやイベント、観光対策がいきいきとしているように感じる。若者の力が発揮されている。(70歳以上・男性)
- さくら観光資源の活用はすばらしい。(70歳以上・男性)
- アジアからの観光客が増加したように感じます。(70歳以上・男性)
- 多言語スマートツーリズム運営事業 弘前公園で、移動した天守の架空映像を観光客の方々が大変楽しんでいた。(70歳以上・女性)

●産業振興 2件

- アパレル産業を強化してくれるのは、単純にうれしい。(10歳代・女性)
- ひろさきライフ・イノベーション推進事業期待しています。(70歳代以上・女性)

●その他(特に良くなったと感じること) 7件

- 市長がPRをがんばっている。よくテレビ・新聞・イベントにでている。(10歳代・女性)
- まだ職について詳しく調べることがないからか、実感できない。(20歳代・女性)
- 農林業振興、観光振興 どちらもニュース、新聞等で情報が入りわかりやすい。(40歳代・女性)
- こんなことをやっているんだとPRすることも必要だし、取り組む、図る、目指す、展開するとまずは企画の段階なので実行して結果を出すことが必要です。(50歳代・女性)
- 新しい商品の開発やPRは行き届いていると思う。(50歳代・女性)

- 地域の物で何か出来ないかアピールしているかという点で評価できると思います。(50 歳代・女性)
- 展開にスピード感がある。(60 歳代・女性)

【この分野で取組が不十分と感じること】

●農林業振興 11件

～担い手対策～

- 私の祖父はりんごを作っているが、とても大変そう。赤字になってまで作っているので補助金制度をして、若者農業者を増やしていけばいい。(10 歳代・女性)
- 農業の担い手不足や、新規就農への壁、農業経営の大変さ・・・、などなど相変わらず農業への課題が聞こえない日がないように感じます。変化を嫌う業態だからなかなかみんなが乗り出して進化するのは難しいと思いますが、あと 10 年 20 年を考えるととても心配になります。(40 歳代・女性)
- りんご作りの後継者確保が進んでいない。収入が安定しないことも原因かも。臨時の作業員が無くて困っている。りんご園に入る機会もなく抵抗が大きいのかも。(60 歳代・男性)
- 農家の高齢化(農家だけでは無いが)は、深刻。りんご畑が、どんどん住宅地になるのは淋しく思う。(60 歳代・女性)

～耕作放棄地～

- 耕作放棄地が目につく。特に水田が減っていることが残念。昔見ていた見渡す限りの水田が素晴らしい景色だったと耕作放棄地を見て気づかされる。(30 歳代・男性)
- 耕作放棄地の増加に歯止めがかかっていない。(30 歳代・男性)
- 通勤の際、耕作放棄地を目にする機会が多いです。全国的にも、農業従事者の高齢化が問題となっています。親族間でなくても継承してもらえような、世代交代のしくみを作り、促進してほしいです。(30 歳代・女性)

～その他～

- 農業に関する事業。何をやっているかわからない。(10 歳代・女性)
- 農業の高度化。(20 歳代・男性)
- 農家対策。(40 歳代・女性)
- りんごの活用は、まだまだ不十分。なぜ、もっと年間通して多様体に活用しないのか。(70 歳以上・男性)

●観光振興 4件

- 特にさくらまつり期間中に多く人が訪れホテルも一杯になるほどだが、それ以外ではあまり人が集まらない。(20 歳代・男性)
- 観光に関しては、特に外国人観光客への意識が薄いと感じています。桜まつりを観光の目玉として掲げていますが、弘前公園周辺の観光地では多言語表示に対応しておらず、首をかしげながら見ている外国人観光客もいました。公園内でも本丸内の展示も日本語のみの表示だったと

記憶しています。中国から青森への直通便が就航することになり、中国人観光客の増加が見込まれます。多言語表示を観光地、公共交通機関など様々な場所に対応させることが必要だと思います。(20歳代・男性)

- りんご、城、ねらた・・・それしかないですよ。(30歳代・女性)

●商工業振興 5件

- 既存の商品のままPRだけ広げるのでは不十分。商品の改善もしてこそ意味がある。(20歳代・男性)
- 農業が多い弘前だが、工業にもスポットを当て、取り組み願いたい。(30歳代・男性)
- シャッターの閉じた店舗が多く、活気が見られず人通りも少なく残念(60歳代・女性)
- 他の分野に比べて、商工業振興事業が道半ばの感があります。弘前市という地方都市というハンディはあるかもしれませんが、全国の地方都市のなかで起業や誘致など実績のある市町へ関係職員の派遣をして、弘前市のビジョンに反映してもらいたいと思います。私は弘前市は限りなく有益な資源を持っている地域であると思います。(医療、農業、観光、卓越技能者、伝統工芸等々)(60歳代・男性)
- シャッター街、空き店舗の改善と利活用が不十分だと思います。車社会ですから、無料駐車場の確保なり支援は考えられないだろうか。(70歳以上・男性)

●産業振興 1件

- 第一次産業がメインの弘前市に於いて、将来を見据えて新たな産業を創設してゆかなければジリ貧であり、その為に工場の誘致や起業を計画している者への優遇や補助を充実させる必要がある。(40歳代・女性)

●雇用対策・労働環境 1件

- 若者の働ける場所が少ない。せっかく多くの大学があるのにもったいないと思う。地元企業のPRを積極的にしてもらいたい。(50歳代・女性)

●その他(不十分と感じること) 5件

- 良い事業ばかりだが、知らないことが多い。認知度が低いと思う。(20歳代・女性)
- 極論ですが、フジテレビが見える様にしてほしい。同じ国民レベルなのに、知識レベルに格差がありすぎる。全国民がちびまる子ちゃんを熟知していると思うなよ!と思います。せめて、キー局の放送は、リアルタイムに見えるようになってほしい。(50歳代・女性)
- 新しい商品の開発やPRは行き届いているが、ただ、以前からあるなじみのある商品の価値が下がるのでは?多くの商品や品種への取り組みで忙しくなるだけで、利益が上がっていないのでは?(50歳代・女性)
- 地元の物を県外などで目にしたり手に取ったりすることがあります。PR不足なのではないか

と思われます。地元の間があまりよくわかってないのではないかと思います。(50歳代・女性)

- ・ 後継者対策や地元就職の若者対策。(60歳代・男性)

【この分野で今後さらに期待したいこと、その他要望・提言・アイデアなど】

●農林業振興 11件

～担い手対策～

- ・ りんご良品生産には新たな取り組みが必要であると同時に、今までもこれからも「人の手」が必要な事業と併せ、農業分野へ働き手が流れるようなしくみを。(40歳代・男性)
- ・ 都市部に潜在する就農希望者を受け入れることで、農業の活性化につながればと思います。(40歳代・女性)

～りんご産業～

- ・ 市民のりんご消費量が絶対に低いと思う。日本一の産地は日本一の消費地(一人当たり)であるべきだと思う。弘前りんごをPRするうえでも自分達の消費量が低ければ説得力に欠けると思う。市民の誰もがりんごの消費が上があれば市の景気も良くなり、健康にもなる。これ以上良い事は無いと知っているにもかかわらず、一向に消費量は上がらない。何かきっかけがあれば良いのだと思う。(30歳代・男性)
- ・ りんごの生産基盤強化を図るための、ワイ化、防災施設、スピードスプレーヤーの機械をセットで補助し、新規就農者を支援してほしい。(60歳代・男性)
- ・ りんご公園の拡大と充実。公園へりんご協会を移設してりんごの一大拠点に。「自然栽培園地」の設置を強く要望する。定期的に世界りんごづくり大会を開催する。プラムは、たくさんあるはず。(70歳以上・男性)

～地産地消推進～

- ・ 地産地消を目指し、どんどんPRできる場所は、PRすればいいと思う。(10歳代・女性)
- ・ 弘前市の農産物の地産地消促進の取り組みは、実施されていますでしょうか？安全・安心でおいしく、しかも弘前(または地元)の農産物があれば、それを購入したいと思います。地産地消では販路拡大にならないのでしょうか。(50歳代・女性)

～その他(農林業振興)～

- ・ 農業の企業化をうまく進めることで、高齢者の活躍する場を確保しつつ若年世代に農業技術を受け継ぐことができるような事業をしてほしいです。(30歳代・女性)
- ・ 市街地の耕作放棄地を区割りして、貸し出してはどうだろうか。(60歳代・女性)
- ・ 年々地球温暖化が進む中、りんご産業とともに、他の果樹、野菜等の生産に取り組む対策も必要。(70歳以上・男性)
- ・ 土づくりと環境汚染対策について。農畜産物の硝酸態窒素濃度の減少対策。日本の農作物(野菜、果実など)は世界で一番硝酸濃度が高いといわれて久しい。日本一のりんごも硝酸に汚染されているようです。早急にこの対策を実施すべきです。早くしないと大変なことになります。(70歳以上・男性)

●観光振興 8件

- 多言語スマートリズムは、今後もっと発展して欲しい。(10歳代・女性)
- 何か楽しいイベントを増やしてほしい。また、そのイベントをどこでいつやるのかの告知を増やしてほしい。たか丸くんの出番を増やしてほしい。(20歳代・女性)
- 四大祭り、本当にすばらしく誇りに思っているのですが、他にも楽しいお祭りができたら、弘前にたくさんの方が遊びに来てくれると思います。(20歳代・女性)
- 観光面では、弘前市は新幹線が通らないので、何もしなければあっという間にすたれてしまう。そんな危機感をもっていないと駄目だと思う。弘前市は弘前市らしく中弘南黒地域のリーダーとして、弘前市を拠点にして日帰り可能な旅行プランを確立し、近隣市町村の観光資源もフルに活用するのが良いと思う。(30歳代・男性)
- インバウンドもそうですが、観光振興に心から期待しています。一生に一度はお伊勢参りではないですが、さくらやねぶた以外に、通年訪れたいくなるモノやコトがあればいいのと思います。(40歳代・女性)
- 観光資源が豊富な弘前ですが、それらを活かしながら更なる発展のためにもオリジナリティーあふれる施策が必要だと感じる。(40歳代・男性)
- 外国人旅行者の誘客は、まだまだ見込めると思うので、公共施設だけではなく、商業施設等でも外国語表記(特にアジア圏)をすすめていければ、良いと思う。(40歳代・女性)
- 27年度も提言しております。毎月1回必ず、りんごのイベントを実施して、県内外から人を集めること。(70歳以上・男性)

●商工業振興 5件

- ヒロロに人が集まる工夫をしてほしい。(20歳代・男性)
- 伝統工芸品をもっと全国にアピールし、青森県や弘前市の魅力として知ってもらう必要がある。市民でも同年代の人はねぶたや桜しか弘前の有名なものが分からないというのが現状である。(20歳代・女性)
- 駅と弘前公園を結ぶ土手町の魅力を高めることが必要であると思う。せっかく、ねぶたやカルチュアロード、よさこい津軽等が土手町で開催されているのにも関わらず、シャッターが降りた店ばかりでは観光客も興ざめ。(30歳代・男性)
- 商工業振興。(50歳代・男性)
- 土手町のアーケードを復活すると少しでも活気が戻ってくるかなと少し期待する。(60歳代・女性)

●産業育成 1件

- 頑張っていないとは思わないけれど、都市にある店舗や企業はこの街にもあって欲しい。沢山の企業の弘前営業所とか支社とかが撤退しているようですが、とても残念に思います。若い人の動きがいのある場所を確保して欲しいです。(50歳代・女性)

●雇用対策・労働環境 7件

- 地元への就職。(10歳代・女性)
- 有効求人倍率は高いかもしれないが、取ろうと思っていないとしか思えない企業も多い。また、今の大学は楽する為に大学に行っただけの人になってきている。市の職員には中小企業に出向してもらいたい。現場の監視と企業の改善の為にある程度滞在してほしい。公務員と会社員のギャップも知らずに何も変えられるわけがない。(20歳代・男性)
- 雇用、就職支援、これから良くなる事を期待しています。(30歳代・女性)
- 大学・企業連携事業は、頑張ってください。(30歳代・女性)
- 若者が豊かに暮らせる雇用環境の整備が急務ではないか。(40歳代・男性)
- 経営力の向上を期待し、雇用の拡大につなげてほしい。(50歳代・女性)
- 大学・企業連携地元就職推進事業 弘前で生まれ、学び、育った高校・大学生などの若い人材ができるだけ流出することなく、地元で希望を持って活躍できるような就労環境が整備されること。(70歳以上・女性)

●その他(さらに期待したいこと、その他要望・提言・アイデアなど) 2件

- 生活していく中で、あまり関わることのない分野なので、何をどのようにしているのかよく分からなかった。(10歳代・女性)
- まず、地元の人に定着すること、それが大切だと思います。(50歳代・女性)

7. その他市政に対する意見・要望、新たに課題となっていることなど

●市政全般 4件

- 弘前デザインウィークで、とても有名な方たちを弘前に呼び、市民と触れ合う機会をつくったのは、とても良いことだと思った。なかなかできない経験であったり、やりたくてもできないことに市が協力してくれれば、子どもたちの可能性を広げられるのではないかと感じた。(10歳代・女性)
- 市のIT化がまだまだ遅い。そして、多くの職員はそれにすら気づけてすらいらないように思う。このアンケートもメールでデジタルデータを扱うならば、プログラムを使った集計も考えられる為図形で丸を書かせる形式は、好ましくない事に気づいていない事が、何よりの証明。1週間後の天気かわかるかどうか。わかる人だけは予定を立てられる。それが情報格差。行政とあろうものが、時代の最先端の技術を使えないならば、その存在価値に疑問が残る。情報をアプリ化して発信する試みも行っているようだが、アプリは情報発信に適していない。アプリの特性上アプリの存在を知り、ストアから検索し、ダウンロードし、スマホにアイコンを作り、起動し、時には設定も必要とする為、サイト検索に比べはるかに敷居が高い。アプリを作るならばこのアンケートもアプリ化し、天気予報から市政情報まで見る事が出来、双方向通信が出来る総合ローカル情報アプリを作るべき。IT業界に長く勤めた人を採用する仕組みがないのが最大の欠陥かと。(20歳代・男性)
- 相馬地区PR事業は、うらやましいなあと思います。「弘前」だと広範囲すぎて、PRはむずかしいのでしょうか。事業の成功を祈っています。りんご農家として。(30歳代・女性)
- 家庭環境の充実こそが、原点だと思います。安心して過ごすことができる家庭をつくるために長期にわたるライフプランを考える機会を作ったり、モデル事例を公表するなど、市民にヒントとなるような情報を提供していただけたら、明るい未来につながると思います。(30歳代・男性)

●市長について 3件

- 市長をよくテレビで拝見します。いつも若々しく弘前のPRの顔になっています。どうぞお体にお気をつけて頑張ってください。(50歳代・女性)
- 葛西市長さんは、いろいろな知恵を出してがんばっておられます。その姿に広報ひろさきをしっかりと読んで勉強し、応援していきたいと思っています。(70歳以上・女性)
- 合併してから10年、葛西市長になってからとても明るく、青森県の市の中でも弘前市の活動はめだっている様で、とてもうれしく思います。新しく若い副市長も出来て、ますますの活躍を期待しています。(70歳以上・女性)

●市役所の仕事力 9件

- 全体的に弘前市役所の皆さんが弘前らしさを意識してやってくれていると感じているので、市民として感謝しています。これからも頑張ってください。(30歳代・男性)
- ひとつひとつの取り組み内容はとても意義深く、全ての目的が果たされた未来は素晴らしいだろうと思います。是非机上の空論に終わらず、実現に向けて行動と検証を続けていただけることを期待しております。(40歳代・女性)
- 市政が真摯に取り組んでいるのは認めるが、結果が伴わない。すぐに、結果が出るものでもない、がんばってと言いたい。(50歳代・男性)

- 市が模範とする組織は県なののでしょうか、国なののでしょうか。職員の仕事ぶりの満足度を上げることは必須ですが、県とは異なる弘前独自の地方公共団体を目指す必要があると思います。市役所が県と同じ仕事をするというのであれば別ですが、市役所には県とは異なる仕事の仕方があると思います。市民からもまた職員からも誇りの持てる組織であるべきだと思います。(50歳代・女性)
- 人口の減少に伴い、市の財政環境がますます厳しくなり、事業経営の効率化や運営基盤の強化を図るため、指定管理者制度や長期包括事業への移行がますます進むことは良いことですが、安全な市民生活を守る事業については、慎重に判断して実施する必要があると思います。その組織に人材を配置しなくなると同時に、将来その組織が廃止されることが決まります。人材育成は、短期間に取り戻すことができませんので、計画的な人材育成（優秀な人材の配置）が必要です。はじめから切り捨てるのではなく、組織を存続させる知恵や工夫が必要だと思います。(50歳代・女性)
- よくやっていると思う。(60歳代・男性)
- 葛西市長をはじめ市職員の方々は、ここ数年大変な成果を上げていていると思います。弘前市が活気づいていると感じています。この背景には大変なご苦労があってのことと思いますが、皆さん健康にご留意され益々ご活躍されますこと期待申し上げます。一市民として応援していきたいと思います。(60歳代・男性)
- 一時マスコミに取り上げられた、市職員以外の人事登用についてです。市長の裁量ですから一市民が申し上げるべき点ではないかと思いますが、市長が考える重要ポストは外部招聘もありかと思いますが、ただ、長年採用時から職員として頑張ってきた有能で意欲があり弘前愛に満ちた職員もたくさんいることと思いますので、明日の弘前市のため市職員の士気が落ちることのないようご指導願えればと思います。(60歳代・男性)
- 市役所の仕事量も増加し、内容も多岐、多様化し、専門的にならざるならざるを得ないと思われるかもしれませんが、担当者が居なければ対応出来ないような事を時々言われます。複数者で対応出来るようにする等改善してください。また、部署によっては、意欲を持って業務を処理している職員と適当にふりをして見受けられます。特に本庁舎から離れている部署での仕事ぶりが気になります。話しは良く聞いてくれると思っておりますが、自分に都合の良い事はよく話し合いますが、自分に都合の悪いことは知らんぷり。時の過ぎるのを待っているように思う。そして、数年後には異動する。良くある話ですが。(70歳以上・男性)

●市民との対話・情報発信 3件

- 経営計画自体がよくわからない。(10歳代・女性)
- 何をしたいのかよくわからない。全体的に空回感を感じる気がする。(40歳代・女性)
- すばらしい弘前市をもっと全国の方々にアピールしていただくために、各種大会、研究大会や学会、シンポジウムなど関係団体に働きかけて、弘前市内での開催機会を多くしてもらいたいと思います。(60歳代・男性)

●政策効果モニターアンケート 3件

- このようなアンケートをとるのは良いと思うが、どれだけ反映されているのかわからないので、不安がある。結果報告書は、ただ集まった意見を報告するだけでなく、「この意見を採用します」や「前向きに検討します」などコメントが欲しい。また、来年の弘前市経営計画に、

「昨年アンケートのこの意見を参考に、こういった事業を行いたいと思います。」など示していただくと、アンケートに答えた私達は答えて良かったと思えるのでぜひそうして欲しい。(20歳代・女性)

- ”世論調査や市民評価アンケートなどを実施し、施策の企画・改善等に活用してきたが、若年層世代の回答数が低い”とあるが、若年層にも同様のアンケートを使用しているのでしょうか？弘前に住んでいても、何が市民生活にとって必要なのか、どうとりくむべきか、というのは私自身(30代)もこのアンケート資料からではわかりかねます。私の場合は言いたい事があるので、書き連ねることはできますが、若者にはアンケート内容をもっとわかりやすく、かみくみで呈示してはどうでしょうか？それこそこれからの市政を担う人たちなので、意見は大事にしてほしいです。(30歳代・女性)
- 経営計画の「改訂のポイント」は今の課題を的確に把握していて良い。(60歳代・男性)

●庁舎管理 2件

- 市役所庁内の各課の案内表示を弘前大学病院のようにどこの階に行ってもわかるようにしてほしい。(50歳代・男性)
- 市駐車場の無料時間を1時間から2時間に。(60歳代・男性)